



We Serve

紫陽

ライオンズクラブ国際協会 333-C 地区

地区ニュース

1991 ~ 92 No. 1 1991年7月30日発行



友情の絆で 広げるまごころ奉仕

目次

継続を、そして開拓を！	333—C地区ガバナー L. 吉田 政 勝	1
文武両道の人	地区幹事 L. 渡 辺 惇	3
第74回国際大会報告	(オーストラリア・ブリスベーン1991年6月18日～21日)	4
1991—92 国際会長 Donald. E. Banker 略歴		5
ドナルド E バンカー新国際会長の就任式挨拶	地区ガバナー L. 吉田 政 勝	6
バンカー国際会長就任演説		
(1991年6月21日ブリスベーン・エンターテイメント・センター, ブリスベーン)		7
活動参加	国際会長 ドナルド E バンカー	11
「南十字星従軍記」	L. 田 口 恵 一 (柏中央LC)	15
初体験の谷間で	長期計画リサーチ指導力育成委員会会長 L. 中 村 清 成	17
習志野市今昔	地区ニュース編集部	19
本年度の抱負と方針		21
地区行事予定		45
ガバナー公式訪問日程表 (予定)		46
YE年間スケジール		47
333 複合地区ガバナー協議会役員		48
ガバナー協議会委員 (C地区関係者)		48

表紙のこと

本誌名「紫陽」の由来について

本誌名を「紫陽」と名づけました。名付人は吉田ガバナーです。その由来は次のとおりで、二つの意義が込められています。

ライオンズカラーは紫色と黄金色であります。紫色は高貴と荘厳さを、黄金色は太陽と3つの光芒をあらわしています。「紫陽」とはこのライオンズカラーをそのままに表現しています。

また今期キャビネットの所在地、習志野市の市花は「あじさい」であり、紫陽花と書きます。「紫陽」はその花に名前も因来しています。

表紙の絵について

表紙の絵はL 青木孝 (松戸東LC) の作です。鬼怒川の溪流で糸を垂れる釣人の涼しげな姿を描いていただきました。

継続を、そして開拓を！

ライオンズクラブ国際協会
333-C地区 ガバナー
L. 吉田 政勝



〔I〕前 文

私は会員皆様の友情あふれる御推挙により、本年度333-C地区のガバナーに就任することになりました。

そのスタートラインに立ち、今あらためて責務の重大さを感じ、身の引き締まる思いであります。

非才ではありますが、私の全精力を傾けて地区運営に努力を注ぐ決意でありますので皆様のたいなる御協力と御鞭撻を心から期待致します。

地区運営については、従前から私なりに考えてきたこともあります。

その内容は決して目新しいものではありませんが、ここで改めて皆様と共に原点に立ち返って見直してみたいと思います。

以下に披瀝させていただく運営方針を一言で表現するスローガンとして「友情の絆で拡げるまごころ奉仕」という言葉を当てさせていただくことにしました。

本年度を通じて、共に御唱和いただければ誠に有難いと存じます。

〔II〕各 論

1. 私は三つの重点目標を掲げて地区運営に努めて参りたいと考えております。皆様の方針として頂ければ幸いです。その一つは、**各単位クラブ運営の充実と発展**です。地区全体のレベルアップは個々のクラブの充実発展なくしては遂げられません。各クラブが夫々に努力されると共に、他のクラブと手を携えて努力されることを期待致します。

その二は、**アクティビティの充実、発展**です。各単位クラブは、夫々に工夫を凝らした個有のアクティビティを持っておられます。誠に尊敬に値することであり、既存アクティビティについて一層の充実を図られると共に、新しいアクティビティの発掘を望みます。

私と致しましては地区内会員の皆様が、**環境保全問題、YEを中心とする青少年育成事業、LCIFやアイバンク**等へのスポンサー活動に変わらぬ御支援を寄せられることを期待します。

そして新しい時代の要望に応じたアクティビティを、今後積極的かつ円滑に展開する為に、**アクティビティ基金**の創設を御提案したいと思います。

その三は、**合理的な運営（すなわち合理化）への配慮**です。私達キャビネット運営を担当させていただく者は勿論、各クラブの運営を担当される三役の皆様方も、会員の皆様から寄せられた貴重な資金を費消して地区運営、クラブ運営に当たり、またアクティビティを実施しています。



We Serve

地区運営、クラブ運営は、地区会員の為のものであり、クラブ会員の為のものです。

運営に当たる者としては厳しい自戒の下に無駄のない効率的運営を心掛ける責務があることは云うまでもありません。華美に走り、あるいは形を競い合う行為はライオンズに合致しません。

簡素な運営、大きなアクティビティ、これこそライオンズ活動の望ましい姿ではありますまいか！

2. 前項で申し上げました三つの柱の内容について少し詳しく申し上げてみたいと思います。

イ. 先ずクラブ運営の充実発展についてです。

㊸ 全員参加のクラブ運営を心掛けていただきたい。一部の人のみが頑張っても、円満なクラブ運営は心もとないことです。

小さな役割でも皆で手分けして担う、全員参加のクラブ運営こそ充実発展の基本でありましょう。

㊹ 次に積極的な会員増強です。クラブが常にいきいきとした活力を維持していくには新しい会員の加入に勝るものではありません。新入会員はクラブの宝です。新規加入に努力すると共に、新会員に対しては先輩の皆様が協力して、一日も早くクラブライフに溶け込んでいただけるよう活動しましょう。

また、女性会員の加入も今や積極的に取り組むべき時代であります。案ずるよりは産むがやすいの心境で行きましょう。

クラブから退会者を出すことは運営の担当者としては一種の敗北です。もちろん個人的にやむを得ない事情に基づく事もあり、それは仕方のないことです。しかしクラブに不満を持ち、クラブを去る人が多いことは否めません。その不満を積極的に解決し退会防止に努力される事を望みます。

クラブ幹事他会員の皆さんは「俺らが会長に100%会長賞を！」を合言葉にして会員増強に一層の努力をして下さい。

㊺ そして、新しいライオンズクラブを誕生させる活動は、最も価値あるアクティビティの一つであり、また会員増強の強力な手段です。様々な困難はありましようが大いなる御努力を期待します。

ロ、アクティビティの充実について

㊻ 今日、環境保全問題の大切さが大いに叫ばれてきました。この問題の重大さに人類はようやく目覚めてきたところだと思います。遅きに失したのではないかが怖れられています。

私達ライオンズクラブが、子孫の為に少しでも良い環境を維持し伝えて行く活動に力を貸すことができれば、本当に素晴らしいことです。

㊼ また日本人はとかく国際性に欠けることが指摘されますが、子供達に期待してのYE活動の意義を見直して下さい。

㊽ 日本社会の豊かさを世界に分ち合うLCIFへの貢献、あるいはアイバンクの充実の為のスポンサー活動も今後の日本ライオンズの進むべき途の一つであることを疑いません。

㊾ 更に、今後時代の要望に合わせた様々なアクティビティが求められることでしょう。そのような要望に直ちに対応する為には、私達にそれなりの備えがあることが必要です。

この為に私はアクティビティ基金の創設を提案します。今年度地区内において十分に御討論の上御理解を得て進めることができ得れば幸せであります。

各年度の地区運営者が、今後有効にこの資金を活用されることを期待しての提案であります。

〔Ⅲ〕 結語

私の提案は、決して目新しいものではありません。しかし、私自身これらの問題の原点に立ち返って考え直してみたつもりです。皆様にも是非それをお願い致します。

ライオニズムという言葉にいかなる意味を盛り込むかは、一人々々の皆様がその生きざまを盛り込むことでもあります。

短い一生の間に、人が他人の為に何をなし得るか、一人の力が小さくとるに足らない時その小さい力を合わせて大きな力に変える事は出来ないのか、遊びの心やゆとりの心からでもヒューマニズムを実践し得るのではないか、政治や宗教と離れたところで様々な心を緩やかにつなぎ合わせて、ヒューマンでエコロジカルな人生を目指してみよう。これが私のライオニズムであります。

皆様のご理解を頂戴できれば幸甚であります。

私の本年度の個人的アワードとして地区ガバナー大賞とでも命名してのアワードを考えています。前述のような立場から、環境保全問題を中心に選考させて頂きたいと考えておりますが、私見に基づき種々の活動を総合的に評価させていただき所存です。

「友情の絆で拡げるまごころ奉仕」を合言葉に、一年間共に良い汗を流そうではありませんか！

皆様の御活躍を期待し、御健勝を衷心から御祈念申し上げます。

———— * ———— * ———— * ———— * ———— * ———— * ———— * ———— * ————

文武両道の人

吉田ガバナーのプロフィール

地区幹事 L. 渡辺 惇

われらが地区ガバナーL吉田政勝の本業は外科医である。しかし小児科か婦人科の先生のような優しい雰囲気の良い人物で、美男子である。緻密な頭脳と繊細な注意力を備えた科学者であるが、冷たい感じは微塵もない。ユーモアのセンスとサービス精神旺盛な活動家である。

謡曲は師範、マージャン名人、ゴルフこれまた上手という豊かな趣味人でもある。謡曲は弟子から月謝の取れる芸であるとのことであるが、定かではない。しかしマージャンの腕が名人級である事を証明する被害者は私を含めて多数存在している。ゴルフは、ショットには見るべきものはないが、寄せとパットは抜群であり、勘が良いことを示している。いわば人生の達人といえる。

ライオンズについては、習志野クラブに吉田ありと知られた勉強家で、地区内切っでの知識経験の持ち主である。正にリーダーたるに相応しい人で、ライオンズ活動についての先見性は定評のあるところである。

欠点がないわけではない。カラオケが全くダメで、努力する気もないらしいのはいささか時代遅れである。また女性に優しく過ぎる。一人でもてて、周囲にいる男性は割を食ってしまう。大いに反省を求めたいところである。かつては自らを称して夜の帝王と豪語していたが、最近は余り噂を聞かない。

ところで吉田ガバナーにおける「文」とは中国文化（マージャン）の研究であり、「武」とは夜の巷の武勇伝である。今後はグレードアップを望みたい。

ガバナー就任を期に一層大成されることであろう。

第 74 回 国際大会 報告

(オーストラリア・ブリスベーン 1991年6月18日～21日)

1. 国際役員を選出

6月21日、ブリスベーン・エンターテイメントセンター（BEC）で行われた投票で、別紙1のと通りの役員が選ばれました。

日本からはL. 菊地伸治（332-C・仙台青葉クラブ）が国際理事に選ばれました。

今回の選挙では候補者がしぼりこまれたため、決戦投票が行われたのは、アフリカ・西南アジアの国際理事のみでした。

2. 国際会則改正

別紙2の改正案の第1項～9項がすべて可決されました。

3. 国際会長就任演説

6月21日、ブリスベーン・エンターテイメントセンターで行われたバンカー新国際会長の就任演説は別紙3のとおりです。会長の略歴は別紙4のとおりです。

4. パレード・コンテスト

日本はユニフォームおよびバンドの2部門に参加しましたが、ユニフォーム部門で第1位に入賞しました。

5. 閉会式

(1) 本年度全会員がメルビン・ジョーンズ・フェローになり、表彰されたクラブは次のとおりです。

東京代々木	(日本 330-A)	茨 城	(日本 335-B)
-------	------------	-----	------------

東京恵比寿	(日本 330-A)	京都鳥羽	(日本 335-C)
-------	------------	------	------------

STATENISLAND ROYAL

(ニューヨーク 20-R2)	京都洛中	(日本 335-C)
----------------	------	------------

東京大塚	(日本 330-A)	YUEN LONG	(香港 303)
------	------------	-----------	----------

東京王仁	(日本 330-A)	MT CAMERON	(香港 303)
------	------------	------------	----------

東京三軒茶屋	(日本 330-A)	CASTLE PEAK	(香港 303)
--------	------------	-------------	----------

12の表彰クラブのうち日本は8クラブでした。

(2) 1991人道主義大賞が南オーストラリアの眼科医 Douglas John Coster に賞金25万ドルとともに贈られました。

Coster は、オーストラリアとアジア太平洋地域で角膜移植、盲目防止の研究と教育に活躍しました。

(3) 1991国際コンテスト入賞者（日本の分のみ）

バナー・コンテスト

(クラブレベルの佳作) 中井クラブ (330-B)

会報コンテスト

(佳作) 駒ヶ根クラブ (334-B)

福井本丸クラブ (334-D)

ビデオ・コンテスト

(2位) 名古屋北クラブ (334-A)

6. 登録代議員数

全世界の資格審査を受けた登録代議員数は役 5,050 名で、このうち日本は 540 名でした。

全世界の大会参加者数は不明ですが、日本からは 1,430 名参加しました (この他に個人であるいは別グループで参加した会員がありますがその数は不明です)。

1991年6月25日

日本ライオンズ連絡事務所

1991-92 国際会長 Donald. E. Banker 略歴

カリフォルニア、ローリング・ヒルズのドナルドE.バンカーは1991年6月18日-21日オーストラリア、クイーンズランド、ブリスベインで開かれた第74回国際大会で国際会長に選出されました。

保険仲立人のバンカー会長は、独立した保険代理店の社長である。彼はアメリカ保険協会によって資産災害証券引受人としてまた危険管理准会員として任命されている。

ウェスト・トーランス (West Torrance) クラブのチャーター・メンバーであるバンカー会長はライオンズ関係の多くの役職を歴任した。クラブ会長、リジョン・チェアマン、100%地区ガバナー、1981-83国際理事など。南カリフォルニア・ライオンズ・アイバンク協会の元会長であり、現在はその理事、カリフォルニア・ネバダ盲目児自然キャンプの設立理事。

ライオニズムへの貢献により、彼はキー・メンバー賞、国際会長賞、協会が会員に贈る最高の親善大使賞を受けている。彼はメルビン・ジョーンズ・フェローでもある。

地域社会での活動が認められ、バンカー会長は2度カリフォルニア州上下議会合同決議により、表彰されている。

バンカー会長と妻のダイアン (Diane) は3人の子息を育てた。

ドナルドEバンカー新国際会長の就任式挨拶

地区ガバナー 吉 田 政 勝

1991.6.21 オーストラリアのブリスベンに於ける第74回国際大会も終了に近ずき、その閉会式の最後にウィリアムLビックス会長からドナルドEバンカー新国際会長へバトンタッチ、新国際会長宣誓式が行われました。

その後バンカー新国際会長の就任演説が行われました。その後私共の名札の下についているELECTと書いてあるリボンを外し取って投げ、晴れて地区ガバナーに就任したものであります。

写真は今年から次期国際会長夫妻とエレクト夫妻の4人で撮る事になり掲載させて頂きました。全世界に688人ガバナーがおり、1組1分ずつかけても11時間余りの時間を要し大変な混雑でした。



バンカー国際会長就任演説

(1991年6月21日 ブリスベイン・エンタテインメント・センター, ブリスベイン)



みなさん、

私にとってこの瞬間はなんと刺激的なんでしょう。恵まれない人々のためのより明るい未来への道を照らす仕事をみなさんと共に遂行する決意をもって、私はこの名誉と役職を引き受けます。私に寄せてくれたみなさんの信頼に対して、またみなさんと共に奉仕する機会を与えてくれたことに対して、私は感謝します。

私はホームクラブの強力な West Torrance LC と4 複合地区（カリフォルニア・ネバダ）の会員のみなさんを紹介したいと思います。この方々はかくも沢山私の高位の役職受諾に立ち会ってくれました。

家族を代表してここにいますふた児の孫娘の母である Lauren を紹介します。更に、みなさんとかかわり合って以来ずっと私の最良の友人であり、同僚であり、楽しい恋人である妻の Diane を紹介します。

みなさん、今日私たちは、他に類を見ない奉仕と成長の4分の3世紀—協会の75周年という歴史的な年に入りつつあります。それはお祭りの年であり、協会を今日あらしめている原理への再び献身の年であります。それはまた、協会の歴史の中で最も偉大な年の一つになるに違いありません。

みなさんと私は共に来るべき12ヶ月の興奮を分かち合い、奉仕の地平線を拡大し、協会の全構造を強化したいと思います。

この1年は熟慮の1年となるでしょう。私たちの歴史と伝統に詳しくなる年です。それは会員であることの意味を深く考慮する年です。

今年みなさんに考えて欲しい質問があります。それは私たちの存在の核心に触れる質問です。

なぜ私たちはクラブの会員になったのでしょうか。なぜ仲間入りをしたのでしょうか。なぜ会員としてとどまっているのでしょうか。なぜボランティアとして時間と努力をささげるのでしょうか。そしてとりわけ、なぜ私たちは奉仕の目標を達成するためにクラブを手段として使用し続けるのでしょうか。

私たち自身に関するこれらの質問に回答できなければ、私たちは仲間入りと奉仕を願う他人にも回答できないでしょう。

私はどういう理由で入会したか知っています。率直に言って、それは社会的にも仕事の上でも地域社会の一部になることでした。ライオンズクラブは地域で指導的な役割を演じていました。今でもそうですが、それは実行者であり、達成者でした。会員は社会に対し広い展望—実業家、専門職、政治家、労働者、軍人や牧師—社会のあらゆる分野の人々—各人が奉仕したいという共通の願望を持っていました。高い能力と高い動機を持つ人々でした。今と同様にいろいろな分野で専門知識を認められた人々でした。

そこで、二つのことが予期せずには起こりました。率直に言って、私は新しい事業に多くの時間を費やす考えは持たなかったためでしょうか。第一に、ライオニズムはかかわり合い—それも個人的なかかわり合い—私が属していた仕事の関係の業界のかかわり合いとは異なるタイプのかかわり合いを求めているのが分かりました。

クラブの活動についてより多く学べば学ぶほど、自分



We Serve

がより多くかかわり合うことを発見しました。個人間の友情が生まれました。人と人とのネットワークが形成されました。地域の生活の知識を共有するクラブ会員と話し合うにつれ、週ごとに私の地域に対する関心は広がりました。

第二の出来事は、かかわり合いが広がるにつれて私の地平線が大幅に伸びたということです。リーダーシップの能力はクラブ委員会や会長を通してのかかわり合いから生まれました。ゾーン、リジョン、地区、複合地区においてリーダーシップの必要な役割を演ずるようになり、私は更に成長しました。人間性の成長に伴って、恵まれない他人のために何かを行う深いあの満足感がやって来ました。それはかかわり合うことから来る人間としての満足感です。私は今もそうですが、ライオニズムのわなに文字どおりかかってしまったのです。

私の West Torrance クラブを通じての 30 年近いかかわり合いの結果、私たちは人々の社会奉仕の目標達成のための完全な手段を与えているのだと確信するようになりました。

この人間的なかわり合いというものは自己増殖を続けます。それは人々のニーズにこたえるために私たちが持っている限りない可能性を認識する手助けになります。ライオンズクラブはどこにおいても唯一の最も有効な奉仕の道具だという自信をかかわり合いは深めてくれます。

かかわり合い。それは動機の核心です。それはまた私たちの今日をあらしめているもの — 世界最大の奉仕団体 — への唯一の基盤です。奉仕団体。それは今日私たちが知られている姿であり、今日まで成長してきた姿があります。みなさん、それは未来に向かって成長を続ける献身的な奉仕団体であり、その目標はあらゆる所の人々の生活を明るくすることです。

みなさんを代表する役員として私は 30 年近いかかわり合いの中で多くの文字どおり素晴らしい心温まる経験をしています。みなさんも同じ経験を持っていることを知っています。

盲目の子供に対して、来年もカリフォルニアの盲目児キャンプに参加するよう言いましたら、その子供は最も大切にしている汚れた赤の野球帽を投げ上げて喜びまし

た。

17 年間盲目だった 19 歳の者が私の事務所に来ました。私は彼女が再び見えるようになると知った最初の一人であり、彼女は南カリフォルニア・ライオンズ眼科病院で手術を受けました。

メキシコの La Paz でふた児を背負いながら、食べ物と着物を受け取った母親は、眼に涙を浮かべ「家族の命を救ってくれてありがとう」と私に言いました。

北アメリカの冷たい雨の中で盲目の子供たちが彼らの恩人である協会の代表に会うために待っていました。彼らに触れ、顔を見たとき、私は奉仕団体に所属する理由が分かりました。

13 歳の者は涙を流しながら、カリフォルニアの Torrance クラブに感謝しました。そのクラブは彼女とその家族にライオンズ クエスト「思春期の方法」と共にアルコールから開放されるための勇気を与えたからです。

私にとって素晴らしい不思議な経験でした。私が協会の将来に情熱を傾けても、何の不思議もありません。私たちライオン、ライオネス、レオの各人に対し、75 年前に打ち立てられた原理に再び立ち帰ろうと呼び掛けるのに、他に何の理由が必要でしょうか。人間個人として、かかわり合いのある形のボランティアに再び精進することを願います。

私たち — みなさんと私 — は過去 10 年余りの間に、創立者メルビン・ジョーンズが協会を作ったときには可能と考えもしなかったことを実現できることを証明しました。

10 年近く前に、私たちは二つの問題 — 薬物乱用防止と糖尿病に私たちの焦点を絞る決定をしました。この期間のうちに私たちアメリカ糖尿病協会から最も重要なグループの一つとして認められるようになりました。

世界中の大変多くの糖尿病患者がライオンズ、ライオネスクラブがスポンサーした大学、病院、地域社会の研究、教育事業を通して、私たちの彼らへのかかわり合いにより影響を受けました。

そのとき、私たちのライオンズ — クエスト計画が、全世界の学校に与えられた事業として最も重要なものと

なりました。

数多くの子供たちとその家族が私たちのライオンズークエスト「思春期の方法」、「成長期の方法」の影響を受けました。教育者や政府高官は全世界の子供たちとその未来への私たちのかかわり合いを賞賛してくれました。

さて、私たちが160万のライオンズの家族の方針を絞り込むとき、それを成し遂げられることを証明したわけですから、私はみなさんが協会がかつて経験したことのないような大きな影響力を持つ計画に対し、結集するようお願いものです。

私たちは真に「盲人の騎士」です。ヘレン・ケラーの哲学の真実性が立証されました。私たちは盲人にかかわり合いのある機関との共同作業の結果、それらの主要な後援者となっています。多数の盲人の人生が、私たちと彼らとのかかわり合いのゆえによりよくなっています。

さて「視力ファースト」です。それが存在している所があるかぎり、糖尿病による盲目を征服する全地球的な誓約です。予防できる盲目を征服するため、世界中の保健機関、大学、医師、病院、診療所とのかかわり合いを持ちましょう。この地球には4千万人以上の人々が不必要に盲目になっています。

みなさんと私はそれを変えようとしています。かつてなかったほどに、私たちは人々の生活にかかわり合いを持つようになります。視力ファーストです。ライオンズクラブ国際協会の発起により、絶望的に私たちの助力を必要としている人々の特定の側面への焦点が絞り込まれました。

この野心的な新しい発起に参加するか否かためらうことはありません。私たちは既に、ライオンズークエスト計画、糖尿病研究とその教育へのかかわり合いを通して、私たちが成し遂げられること証明しているからです。みなさんと私はかかわり合うことができることを世界に示しましたし、この計画への自身の資力に確信を持っています。

さて、私は通達します。毎年大会において、メルビン・ジョーンズとその仲間から引き継がれてきた指導の灯を引き継ぎます。70年以上、その灯は世界の多くの盲人の道を明るくしてきました。この第74回大会は、「視力

ファースト」の基金をつくる3年間の努力の始まりです。

国際理事会は6月14日、国際視力ファースト資金獲得委員会を設けました。この委員会はキャンペーン方針を策定し、視力ファースト資金獲得を管理します。

委員長は元国際会長であり、資金獲得キャンペーンの執行役を務めます。委員長は、このキャンペーンのスポークスマンの役目をするほか、この並々ならぬ活動を調整する任務もあります。キャンペーンの指導の灯がこの献身的なライオンに渡されるかぎり、キャンペーンはよく運営されることに合意してくれると確信します。この役は Judge Brian Stevenson 元会長です。

視力ファーストのための必要な資金より多額の金額を集めることに私は疑いを持ちません。私たちはそれを成し遂げます—私たちはライオンズのいつもの独特のからいばり、才覚によって成し遂げます。

クラブは視力ファーストのため資金を集めます。と同時に既にかかわり合っている事業を支援することを続けます。私たちは私たちの方法でそれを成し遂げます。

ところで、私たちには目標があります。75周年を記念する7万5千人のメルビン・ジョーンズ・フェロー(MJF)です。現在目標の60%以上に達しています。過去5年間のMJFの増加には著しいものがあります。しかし、今年成し遂げようとしているものに比べれば、物の数ではありません。

私はみなさんを知っています。私はみなさんの財団に対する献身を知っています。私はみなさんに最大の信頼をおいています。75周年を祝うために75,000 MJFを掲げましょう。古いアメリカの表現で言えば、「それにかけていい」です。

また私は確信を持っています。私たちをして今日あらしめている基本への新たな献身の結果として、会員数は増加するでしょう。テネシーの元会長 Ed Lindsey は次のように言いました。「私たちは同族の団体でもなければ、社交グループでもない。私たちは多くの特性を持っているが、常に忘れてならないのは、奉仕クラブだということだ」

それが私たちが世に知られているありようなのです。それが今日ある成長の形なのです。そして、それが将来



We Serve

成長を続ける形なのです。「われわれは奉仕する」は私たちのモットーです。それが私たちの行っていることです。私たちが入会させようとする人々は「われわれは奉仕する」の意味を理解しなければなりません。

70年前新クラブの設立会長の言った言葉を私は時々引用します。彼が1921年にライオニズムの意味について言った言葉を聞いて下さい。ライオニズムとは：

「人の心に愛国心を永遠に植え付けるため、また誠実さ…企業における協力、地域社会の改善、市町村の発展のために尽くすよう人を促すために、ライオンズクラブは創立される。ライオンズの影響力が、福祉のために、また地域社会を強化させるために活用されるよう…ライオンズクラブは組織されている」

私たちは政治的しがらみ、宗派的考え方から開放されています。私たちは秘密のない兄弟です。私は常に誠実に忠実に住む場所をよりよい所にするをはじめ、あらゆる価値ある企てにおいて、私は喜んで市民、市民グループと手を取り合います。

別の言葉で言うなら、私たちは奉仕するためにあるのです。私たちは目的を果たすために、同じような種類、性格、目的の団体と交流をします。目的達成のためクラブは熱心に努力するのです。私たちは存在のためにその他の理由は持ちません。

控えめに言って、私たちの社会が、住み、働き、遊ぶのにライオンズクラブの力により、よりよい場所になったといつの日か言われるように私は望んでいます。

70年と同様その前提条件は今も真実です。それは私たちの設立の基本—私たちが今日の姿に成長することができた基本を照らし出しています。私たちはその意味を理解し、私たちが入会させようとしている新会員にそれを伝えなくてはなりません。

ところで、いくつかのクラブには新しい情熱があります。それは4万名近くの婦人の入会によってもたらされた新しい積極的、精神的な奉仕への力です。

そのうちの一人がこの大会でただいま地区ガバナーとして就任しました。彼女は103複合地区のフランス出身です。103—CC地区のマダム Louise Colombani を紹介します。

みなさん、協会の会員がどんな意味を持つかにつき、私は具体的に述べることを試みました。私はクラブが地域で指導力を発揮する側面を指摘しました。協会に属することの利点を述べました。私は個人の成長の可能性と個人の地平線の拡大の可能性—かかわり合うことの喜びと満足—そのかかわり合いのためにライオンズクラブがなぜ完全な手段たり得るかにつき強調しました。

私にとって、個人的な成長、指導力の可能性、地域へのかかわり合い、クラブ会員であることは同意語です。それは協会の会員であることの素晴らしい理由でもあります。

最後に、「75周年」。ライオニズムの基本哲学への再献身の時です。その刺激的精神と情熱的な理想主義を他人と分かち合う時です。人類のニーズにこたえて私たちのビジョンを拡大する時です。

「75周年」。協会がその存在を通して主張してきたすべてのものを受け入れる時です。

そして今や、私にとって、「ありがとう」と言う時です。

個々人としてかかわり合うことから利益を受けるすべての人々のために「ありがとう」。

みなさんを代表する紋章をつける誇りをくれたみなさんに「ありがとう」という時です。

みなさん一人一人に対し、その行っていることのために「ありがとう」。

活 動 参 加

INVOLVMENT

(1991～92 国際プログラム)

国際会長 ドナルド E. バンカー

活動参加は、75 年前、創設者のメルビン・ジョーンズが、単に事業の成功を追求するのではなく、視野を広めて地域社会の改善並びに人々の生活向上に尽くすよう、実業家たちに呼びかけた時に、重要な鍵であった。活動参加の望みがあったからこそ、これら実業家のグループが、今や世界最大の奉仕クラブ組織となった協会を設立したのである。そして個々のクラブが自分達の地域社会で活動に参加しているがため、協会は羨望の的となる国際的名声を維持しているのである。

ライオンズ、ライオネス、レオの皆さん

皆さんはきっと、「ライオンズとは誰ですか」という質問を受けたことがあるでしょう。これは、私たち自身が自問自答すべき質問です。

協会は 160 万人以上の男性、女性、若者を含む家族であり、世界の 171 カ国で人類奉仕をしていることを、私たちは知っています。

又、75 年の歴史を誇り、まだ成長を続けている世界最大の奉仕組織であることも知っています。

私たちは資金を集め、恵まれぬ人々の援助に時間を労力を提供しています。

そして何にも増して、盲人その他の視力障害者援助を長い伝統としてしていると共に、世界で薬害教育をスポンサーして大成功を収めています。人類奉仕では、誰にも劣らぬ功績を上げているのです。

協会は以上のようなグループである反面、次のようなグループではありません。強い友情の絆で結ばれ、チームワークやユーモアを楽しむグループではあっても、友愛組織ではありません。

市民の協力や国への忠誠を重んじるとも、政治的組織でも国家主義的組織でもありません。

特定の宗教とのつながりもありません。しかし会員は、色々と異なる宗教を信ずる人たちです。

協会はもちろん、実業家団体又は専門業者会でもありません。しかし実業家、専門業者、地域社会の指導者たちが、共通の目的のために集まる機会を提供しています。

私たちは、地域社会そのものである

そうです。地域社会です。私たちは、地域社会が成長して繁栄するよう、活発に働こうとする人たちの民間グループであり、単に数人だけでなく、全員の成長や繁栄を助長するよう努力する人たちです。

1917 年以来、ライオンズクラブは地域社会の活動参加を象徴してきました。これは、私の個人的な経験からも説明できます。

自分の事業を始めようとしていた若い時、地域社会での活動に参加したくて、ライオンズクラブへの入会を求めました。勿論、自分の事業を成功させたいと思いましたが、地域社会にも成功してもらいたいと思い



We Serve

ました。メルビン・ジョーンズがかつて言ったように、社会にお返しをしたい、と思ったのです。

最初、ライオンズについて漠然としたことしか知りませんでしたが、すぐに、自分の能力を活用して他の人々を援助することの喜びを感じずるようになってきました。これは素晴らしい経験であり、薬物の中毒から若者を救い出したり、失明した人の視力を回復させた時の強い感情は、今でも、私の意欲を盛り上げてくれます。

クラブでの個人的な活動参加も大事ですが、クラブ自体が、地域社会、地区、そして国際協会の活動に参加することの必要性を、私は益々強く感じます。

アメリカ・テキサス州のあるライオンズ・クラブの初代会長が、協会の開拓時代に言った言葉は、ライオンズの原理と目的を良く表現していると思います。

即ち、「人の心に愛国心を永遠に植え付けるため、又誠実さ……企業における協力、地域社会の改善、市町村の発展のために尽くすよう人を促すために、ライオンズクラブは創設される。ライオンズの影響力が、福祉のために、又地域社会を強化させるために活用されるよう……ライオンズクラブは組織されている」

以上の言葉は今でも真実を語っています。これからの1年間、協会は世界での奉仕活動75周年を迎えます。この歴史的な時点に、協会の目的に含まれる基本的な原理への献身を新たに誓って頂き、同時に将来にも目を向けて頂きたいと思います。

それには活発な活動参加が鍵であり、75年前にメルビン・ジョーンズが、単に事業の成功を追求するのではなく、視野を広めて地域社会の改善並びに人々の生活向上に尽くすよう、実業家たちに呼びかけた時にも、これが鍵であったと思います。

活動参加の望みがあったからこそ、これら実業家のグループが、今や世界最大の奉仕クラブ組織となった協会を設立したのです。そして個々のクラブが自分達の地域社会で活動に参加しているがため、協会は羨望的となる国際的名声を維持しているのです。

しかし、協会は単に、4万近くの地域社会にある別々のクラブの集まりだけではありません。個々の地域社会の事業が重要であると同時に、自分たちの地域社会には存在しない問題でも、力を合わせなければ解決できない問題であれば、その問題解決に努力しなければならないことを、忘れてはなりません。

視力ファースト

失明と闘うライオンズ

ほんの1年前に紹介されて以来、この新しい失明予防プログラムは世界中のライオンズの関心をそそり、ライオンズは活動参加の熱意を燃やしています。私は、「視力ファーストとは何ですか。どうしたら、協力できますか」という質問を絶えず聞きます。

「何か」という質問に答えるのは簡単です。失明という大悲劇、即ち仕事をしたり、学んだり、人と交わる方法、又、食べたり、風呂に入ったり、着替えたりする方法など、人間生活に深く影響を及ぼす障害と取り組むための手段が、視力ファーストです。

失明。これは世界の隅々に存在し、あらゆる年齢、人種、社会層の人を襲います。皆さんがこれを読む間に、誰かが、白内障、緑内障、糖尿病性網膜症、トラコーマ、糸状虫症、或いはビタミンA欠乏で失明しています。既に4千万人の人が失明しており、その数は25年後には二倍になります。

ライオンズでは今までに、多くの人の視力回復に貢献してきましたが、すべきことは、まだまだ沢山あります。特に発展途上国では、一般人を教育したり、既に視力障害をもつ人を治療する施設や専門家が、極度に不足しており、治療を待っている人の数は年々増え、この渋滞状態は悪化する一方です。

しかし、失明の 80 パーセントは予防或いは治療できる筈なのです。不幸なことに、最善の努力にも拘わらず、治療を必要とする人が必ずしも全員、それを受けてはいません。そこで、視力ファーストの目標、つまり何百万人もの盲人の視力回復のために必要な援助を与え、教育の機会を提供するということは、全面的な支持に値する目標だと信じます。

私たちは、世界保健機関、主要民間組織、国の保健衛生機関など、密接に協力することになりますが、160 万のライオンズ、ライオネス、レオの努力は不可欠です。どこのクラブであろうと、私たち一人一人には重要な役割が課せられます。

既に、かなりの進展が見られます。L C I F は 420 万ドルを視力ファーストに交付しましたし、運営委員会と技術顧問が任命され、クラブや地区、並びに一般人のための資料も用意されました。幾つかの国では、大きな事業が既に開始されているか、その準備が進められています。視力ファーストは、協会が手掛けた事業の中でも、最も大々的な人道主義的プログラムなのです。

従って視力ファーストは、これからの数年間、協会の奉仕活動の最優先事項として扱われます。協会の歴史上初めて、全地区及び全クラブが、力を合わせなければ到底対処できない深刻な問題解決に、その力を注ぎこむことになる訳です。

会員増強と活動参加

75 年前には、ビジネス・クラブなどいろいろなグループが存在していましたが、そのほとんどは、長続きしませんでした。

他のグループが衰退したのに、協会は何故繁栄したのでしょうか。

理由は二つあると思います。第一に、ライオンズクラブは効果的な社会奉仕をしました。つまり、成果を上げたのです。第二に、ライオンズクラブの会員であることは、価値あることを成し遂げた時に感ずる満足感、という無形の報酬を与えてくれます。会員になって地域社会への奉仕活動に参加することにより、自分の人生が幅広く充実したものになるのです。

私たちは、ライオンズが行う善について良く語ります。勿論今後も語り続けるべきですが、ライオンズクラブが会員のためにしてくれることも、無視できません。

会員になることにより、社会奉仕の活動参加、という新しい視野が開けます。クラブでは、奉仕精神のある他の人々と接し、意義あることを成し遂げる機会が与えられます。

各会員は、クラブ内の指導者になることから地区或いは国際的な指導者になることまで、色々な役割を果たすことができますし、活動に参加する度合いも色々異なります。又、クラブの特定の事業に、自分の才能や技術を使うこともできます。自分の才能や技能を活用できる外、公の場で講演をする機会にも恵まれます。

クラブで学んだ技能は、自分の職業でも使えることが良くあります。例えば、クラブの資金獲得事業を担当した若いライオンとして私が学んだ問題解決の技能が、自分の商売に大いに役立ちました。ライオンズクラブの会員になることは、2 種類の勝利者を出すと思います。何故なら、地域社会と会員の両方が恩恵を受



We Serve

けるからです。

女性もこのような恩恵を受けられるようになったのは、1987年からです。今日、4万人近くの女性がライオンズクラブ会員になっています。女性が加わり、それと共に多種の技能や職業的背景がもたらされ、協会並びに協会の奉仕を受ける地域社会が、大きな恩恵を受けています。女性は今や、企業、職業、教育、芸術、政府などの分野で重要な役割を果たしており、そのような女性がライオンズクラブに入会していることは、協会にとっても嬉しいことです。

ここ数年の間に、会員増強に関する協会の方針は基本的に変まりました。各クラブにも、今は三人のメンバーから成る会員委員会があり、毎年その一人が選挙されているはずです。地区及び複合地区でも委員長の立場が変わり、継続性と効果的な訓練が強調されています。1992～93年度からは、新会員を誘い入れる個々の会員の業績を認めることに、重点が置かれることになります。

これらはすべて建設的な変化です。意義ある奉仕プログラムに並んで、「地域社会の文化的、社会的、道徳的福祉のための」活動参加に全力を尽くせば、全クラブが着実な年次会員純増加を成し遂げることになるでしょう。

周年記念

先見の明のある数人が1917年に、今私たち全員が誇りとする組織団体を創設しました。彼らは、新しい種類の活動参加、即ち地域社会と自分たちのためになるような活動を求めたのです。そして、大成功を収めました。

ライオンズクラブ国際協会 75 周年の年の会長を務めることは、実に光栄なことであります。皆さんにもこの栄誉を味わって頂くため、それぞれの地域社会でもお祝いの行事を計画して頂きたいと思います。今年最初の「リーダーシップ・アップデート」には、行事計画の参考事項が掲載されます。皆さんのクラブや地域社会に適した行事が、これらの案の中にはあるでしょう。

記念品も幾つか、クラブ用品部から購入できることになります。会員にとっても、地域社会の指導者にとっても、これらの記念品は良い思い出になるに違いありません。又、われわれは奉仕する：ライオンズクラブの歴史 (We Serve: A History of the Lions Clubs) と題する歴史の本が、周年記念に先駆けて出版されたことを、私は特に嬉しく思います。会員なら誰でも、この本を持っていたいでしょうし、図書館などにも寄付したいでしょう。

ライオン誌の各公式版も、特別号を発行することになるでしょう。アメリカのカリフォルニア州パサディナで1992年1月1日に行われる盛大なローズボウル・パレードには、特別なフロートが出ますし、協会の過去、現在、将来を祝う新しいビデオも作られています。協会の誇り高き歴史と現在の活動を、一般の人々に伝える特別な努力も、計画されています。

私たちの過去と現在には、祝うべきことが沢山あります。私たちは何百万人もの人を援助し、さらに何百万人もの人が私たちの援助を求めています。この求めに応える準備は十分できています。「視力ファースト」その他の協会プログラムは、現在の社会事情との関連性を持つものなのです。私たちの過去は輝かしく、その将来は、更に輝かしいものになるに違いありません。

敬 具

1991～92年度国際会長 ドナルド E. バンカー

「南十字星従軍記」

—第74回国際大会に参加して—

L. 田口 恵一（柏中央LC）

哀愁漂う『ブリスベン・リミテッドエクスプレス』は特急とは名ばかり。平行して走る国道の車の方が遙かに速い。ケアンズを発ってから、かれこれ4、5時間。車窓の左右はまだサトウキビ畑が続いている。退屈である。

タバコも吸えない、アルコールもダメの談話室でやたらシャッターを押し続けるのは佐々木光太郎氏。コーラとサンドイッチを頬ばるのは進藤良隆氏。激しい前夜の酩酊で互いに自席で睡眠不足を補う小泉昭氏と青木孝氏。禁煙車両に苛立だしさを隠しきれない後藤隆一氏。なぜか東スポを一心に読み耽る木下務氏。隣の黒人親子に手ぶり身振りの山形弁で話しかける多田健一郎氏。そして、ひたすらアルコールの解禁時間を待ちわびる田口恵一君。

現地の『ブリスベントाइムズ』紙によると、いずれもが今回、オーストラリアに派遣された“多国籍軍”の特別メンバーである。出身部隊は船橋・松戸東・柏中央で、初編成の混成旅団だ。

旅団長は小泉中将、副団長に青木少将、情報将校に木下大佐、連絡将校兼通訳に後藤大尉、従軍医師に進藤少佐、従軍カメラマンは佐々木軍曹、万が一の担当として多田伍長、そして運転手の田口上等兵が参加したものだ。事前の合宿・訓練等、一切無しのぶっつけ本番だっただけに意表を突く軍事行動が展開され度胆を抜かれる。指揮を執ったのは最初が佐々木軍曹、次が多田伍長。内容については残念ながら軍事機密で公に出来ない。

閑話休題。

このグループのライオンズクラブ世界大会への参加は次のような日程で決行された。

6月16日（日）成田発11：00 QF 60便……ケアンズ着19：10（泊）

6月17日（月）ケアンズ発07：30 特急列車……タウンズビル着13：45……タウンズビル発16：15 TN 453便……ブリスベン着17：50（泊）

6月18日（火）大会登録、パレード見学、ジャパナイトパーティ
ブリスベン発17：00 レンタカー……ゴールドコースト着21：00（泊）

6月19日（水）ゴーストコースト滞在（泊）

6月20日（木）ゴールドコースト滞在（泊）

6月21日（金）ゴールドコースト発11：35 TN 432便……シドニー着12：50（泊）

6月22日（土）シドニー滞在（泊）

6月23日（日）シドニー発09：35 JL 772便……成田着17：30

台北・デンバーと今回で3回目の世界大会取材だが、パレードを観る人波はブリスベンが群を抜いていたようだ。とにかく厚い人垣で前に進むどころか観ることさえ儘ならぬ有りさま。

いつも感じるが日本代表団は地味だ。パレードは派手で陽気なほどウケるシアピールする。オクラホマ州



We Serve

のインディアンや中世のイギリス軍の登場は歓声と口笛の連射だ。

大会々場はパレード地点と 20 km 以上も離れた森の中。レンタカーで移動したが、見知らぬ異国の地での運転は疲れた。車線は日本より 100 cm は狭いし、第一、オーストラリアの人たちは運転が乱暴だ。ハイウェイでも車間距離は 20 メートルそこそこだし、あまり方向指示をしないで車線を急に変更するので追突の危険がゴロゴロ。4 日目のゴールドコーストでは当然のようにゴルフコースへ。季節は秋なのだが緑いっぱいのフェアウェイと紺碧の空。戸惑いつつも気分は上昇一途。サァ、ヤルゾーオ！と、その時、近くで「おい、メシでも食うかー」の声。前もその前もそのまた前も、後ろもその後ろも、ゼーンぶ日本人なのだ。

ゴールドコーストでの宿泊は『シェラトン・ミラージュ』実はこのホテル、日本本部の置かれているところで、当然、各地区のVIPがウヨウヨ。

そこで6月19日夜、“多国籍軍”主催で吉田政勝エレクトを励ます会を開会。飲むほどに酔うほどに会は盛り上がり異国の夜は最高潮。“吉田丸”の順風満帆を予感させる宴であった。

オーストラリア最後の夜はシドニーのポート・ジャクソンで。ハーバー・ブリッジ、オペラハウスなどの夜景を眺めながらワインとステーキ、そしてシーフード料理を楽しむ。別動隊はキングス・クロスへ。健全なオーストラリアでも、ここだけは例外のよう。東京でいえば新宿歌舞伎町のような歓楽街だ。

あっという間に一週間が過ぎて6月23日、派遣部隊は早朝、宿舎を出て帰国の途に。シドニー国際空港に全員集合して無事、テイクオフ。プリーズとエキスキューズミーからスミマセン、オネガイシマスの747は梅雨の成田へ。



吉田ガバナーを囲む“多国籍軍”の精鋭

1991年6月19日 於 シェラトン・ミラージュ

初体験の谷間で

長期計画リサーチ指導力育成委員長

L. 中村 清 成



ライオンズが今後も繁栄して行くためには、EXTも会員の増強は欠くことの出来ない、永遠の必須条件である。協会のACTの対照は変わっても、この項目だけ是不変です。C地区も独立してから10年が過ぎた。当初は69 LCが10年後には90 LCとなっている。ライオンズも他の奉仕団体と競合しながらも、地域全体に浸透した感もあり、EXTも頭打と成ってはいるが、それでもこの10年間確かな漸増は示していた。これからは益々その困難は当然ながら、それでも掘起しの努力は必要である。

我が八千代LCが20周年記念に、当時の寺嶋ガバナーの祝辞に、15万近き都市に今ひとつのクラブをと、呼びかけられて大平の夢破られた思いで、EXTに本腰を入れて3ヵ月で、1990年5月9日八千代東LCは結成会をあげた。寺嶋ガバナー指差の通り15万都市に成らんとする八千代市には、人的資源は豊であった。加えてEXTについてエキスパートであった、寺嶋ガバナーの焔眼と熱意に改めて敬服しております。

八千代東LCは、女性会員3名を含み41名で結成致しました。この中には1組のご夫婦も含まれており、ある意味ではこれからの21世紀に向う、新しいタイプのクラブ誕生かとも思っております。

女性会員に対しては、長年の男性社会であったライオンズに、特に古いクラブのLほど奇異な？眼での質問が多くあったが、男性と何ら孫色もなく、任務に対し忠実であり、出席率もよくグッドスタンテングである。新クラブの場合は、既てが同じスタートラインから出発しているので、男性女性との差別異和感はなく、自然に同化しています。既存の古いクラブでは、現在のところ対応に難点があるようで、そのクラブの許容範囲の独自性に任せることとして、今後のEXTに際しては、積極的に女性会員を抱括することは、良いことだと思います。頭打となっているEXTには、ネスクラブを軸とした女性だけのクラブを誕生させることも一考に値する。そのケースはすでに発生もしている。

1917年人道主義を掲げ誕生したライオンズも、当初はその会員資格に「但し白人に限る」とされていた。この差別条項が1926年の第10回サンフランシスコ国際大会で撤廃されてから、ライオンズは急速な発展を見る。4年前、台北国際大会で「会員の資格条件」から男性の文字を削除され、女性の入会が認められた。ロータリーでも同じく女性会員を認められている現在、男性と同じ数の女性の奉仕人的資源を活用して行くことは、ライオンズの奉仕勢力維持拡大の意味からも、徒に旧来の観念のみに埋没し、拒絶反応や、閉鎖的姿勢だけでは、過去の話発展の要因に照合しても、奈辺にあるかわ自明のことかと思われる。

八千代東LCは結成してから5ヵ月目、CNを目前にして安原初代会長が、長嶋ガバナー公式訪問の会長現況報告を終り、自席に着いた途端に倒れ急逝しました。キイメンとしてEXTより接点を持ち、結成からCN之安原会長中心に諸準備を進めていた。突然暗夜に灯しびを失った如く、会員一同に深い哀しみと衝激が支配した。



We Serve

私にとっても、EXT委員長ガイデングと2人3脚であったので、惜しみても余りある出来事でした。

この挫折感から立直りその遺志を継ぎ感動溢るCNを挙行した八千代東LCメンバー一同に深い敬意と高い讃辞を贈りたい。会長代行L周郷、石沢幹事、高山会計、有若CN委員長を軸に、会員一同の連帯感溢るライオンズ友情の発露が齎したものと思います。

この間犇々と伝るメンバー同志の連帯感、その友情の極点を、計らずも体験したことは、おそらく我がL歴の中でこれに優る輝はないものと思っています。

そこには必携等に盛られた当嵌めたものは何物もない突然発生した問題を解決するには、一同の純白な真情だけが唯一のものであった。

この2年間、EXTにガイデングとして、ライオンズクラブの基点で、誕生から育成という、初体験の谷間のなかで得たものは、すべての自己犠牲は消え、清々しい尊いものだけが残っている。

習志野市今昔

地区ニュース編集部

習志野市は、東京湾の一番奥にあたる海岸に面した街です。東は千葉市、西は船橋市、北は八千代市に接し、南は波穏やかな東京湾に面しています。

昔から遠浅の海岸では、潮干狩や海苔の養殖が盛んに行われていました。更に古くは、塩田があったこともあります。その塩田の跡地に大正14年、谷津遊園が開かれました。遊園地の中に阪東妻三郎の東京撮影所ができました。読売巨人軍発祥の地となる野球場ができました。昭和9年には、その野球場で、ペーブルースのアメリカ野球チームと、日米親善野球が行われました。

昭和61年に谷津遊園が無くなった跡地には、パークタウンというマンション街ができて、1万人の人が移り住んでいます。遊園地の中のバラ園は、今でも市営のバラ園として引き継がれ、700種6300株のバラが咲き誇っています。近くの谷津干潟は、国の鳥獣保護区に指定されて、野鳥の楽園になっています。



在りし日の谷津遊園



谷津遊園跡にできたパークタウン

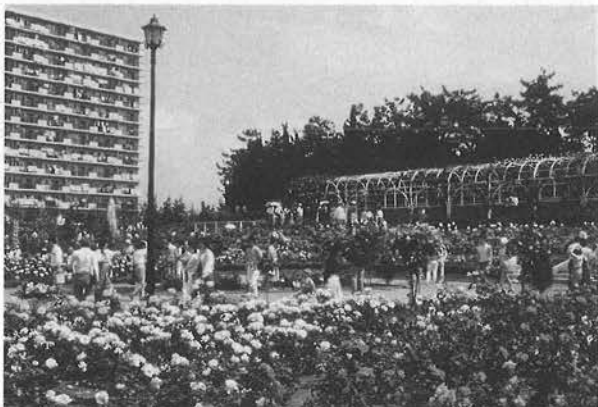
市制が布かれたのは、昭和29年で、当時の津田沼町に千葉市幕張地区の一部が合併して、習志野市になりました。当時の人口は約3万人でしたが、東京のベッドタウンとして段々人口がふえ、現在は15万人の街になりました。海岸の埋立によって、面積もふえましたが、それでも約20平方キロしかありませんので、人口密度の大きな街です。

習志野という地名は、明治6年、明治天皇によって命名されました。江戸幕府直轄の牧場「小金牧」の一部である広大な原野は、明治時代から層々陸軍大演習が行われました。習志野は、軍隊の街として、全国から多くの将兵が集まって、訓練の汗を流しました。終戦と同時に、軍の施設の多くは、大学の校舎に引き継がれ、戦後は学生の街となりました。

スポーツでは、市立習志野高校が高校野球で、2度の全国制覇を遂げました。

交通機関は、総武線、京葉線、京成線、新京成線が通っています。市の表玄関であるJR津田沼駅周辺には、文化ホールをはじめ、大型ショッピング店が軒を連ねています。

第2次埋立でできた京葉港は、海外へ輸出する自動車の積出港になっています。



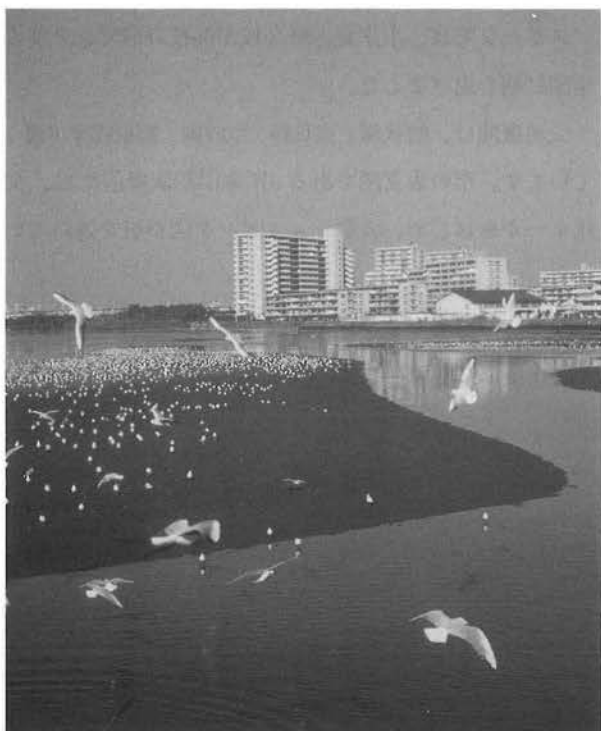
谷津バラ園



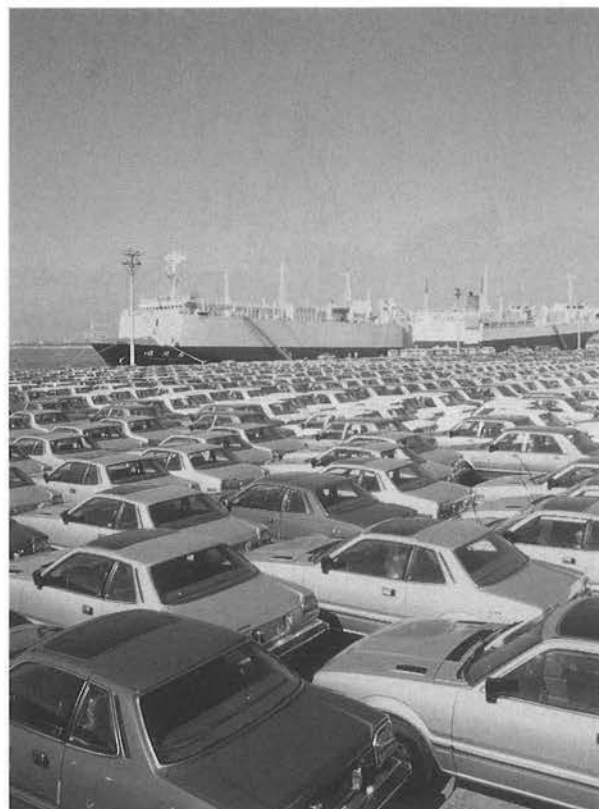
巨人軍発祥の地記念碑



JR 津田沼駅周辺



野鳥の楽園「谷津干潟」



京葉港の自動車積出風景

本年度の抱負と方針

＝ キャビネット構成委員等 ＝

ルテナント・ガバナー L. 矢田常吉（千葉中央LC）



皆様のご推薦をいただき、去る五月十二日の地区年次大会で、ルテナント・ガバナーに就任のご承認をいただきました。身に余る光栄に存じますと共に、責任の重大さを痛感いたしております。千葉県内にライオンズの芽が萌えてから三十年、先輩ライオンをはじめ皆様方のご努力により、輝やかな成果と発展を続けて参りました。その歴史と伝統をうけつぎ、さらに明日に向かって発展のために、一段の精進を続けたいものと思います。

キャビネット幹事 L. 渡辺 惇（習志野LC）



1973年2月 入会
1982年～1983年 CAB副幹事
1984年～1985年 333複合地区 長期
リサーチ指導力開発委員会委員
1985年～1986年 会長
1988年～1989年 地区会則、会員増強
EXT委員長

今年度キャビネット幹事を務めることになりましたが特段の抱負はありません。幹事の職責として、キャビネット内局員の人の和を大切にして、吉田ガバナーの施政を円滑に実施すべく努力するのみです。たゞ私の年来の持論として、キャビネット運営を出来るだけ簡素化したいとの希望を持っております。私の考える簡素化とは、実質を重視し形式あるいは儀式的部分は簡略にするという意味です。物事は一定の形式を持つことでスムーズ且つ怠りなく進め易くなります。換言するとフォームとは物事を円滑に進行させる方法であって、目的ではない筈です。しかしフォームが固定すると、そのフォームを遵守することが目的の如くになりがちです。これは本末転倒でしょう。

例えばガバナー公式訪問ですが、どの地区においても形のごとく進行して行きます。そして形のごとく終われば良く出来たとなる訳です。本当にそうでしょうか？もう少し実質的な面での工夫があっても良いように思うのですが如何ですか？

さてそれでは具体的にどうするのか、私には知恵はありませんと逃げておきます。皆さんで工夫していただければ、キャビネット側でも十分議論して、支持させて頂くつもりではおります。

はたして皆様に評価して頂ける地区運営が出来るかどうか、全く自信はありませんが、失敗を恐れずやってみたいとは思っております。ご協力をお願い致しますと共に簡素化へのアイデアを寄せて頂ければ幸甚であります。



1974年10月 入会
1982年～1983年 CAB副会計
1983年～1984年 幹事
1985年～1986年 地区会計監査

無病息災は多くの人の願いで有り良く耳にする言葉でも有ります。ところで私の自慢は先ず、“病氣”です。先天性心臓疾患に始まり、最近は糖尿病、鼻、眼等々の多病、云って見れば多病息災なのだとかやしまぎれに力んでおります。長年重くのしかかったこの心臓病との摩擦たるや相当なもので、そのコンプレックス故に性格的には非常に弱く目立ちたくない《要するに引込み思案》と云う感情が先行し、常に人の後にいるのが好きだと自認しております。

幸になことにこの「愛する心臓病」によ依り天職を授かり、更にLCとの素晴らしい出会いにも恵まれました。

この度のキャビネット会計を引受けるにあたり、その辺の処で自信がなく、かなり強行に辞退させて頂きましたが、L吉田の更に強い熱意に負けてご一緒に頑張らせて頂くことになりました。

さて、近年C地区の財政状態は芳しくなく、各年度のキャビネット担当者は夫々苦勞されてまいりました。

円滑な地区運営をする為、第36回年次大会に於て地区特別運営費が会費1人当月額100円で決議されました。これにより前年度より総額480万円が予算化されています。貴重な会費でありますから、より一層の適正な予算の執行に努め、吉田ガバナーの提唱する「赤字を出さない運営」に心がけてまいりますので、今年度1年間御指導、御協力の程宜しくお願い致します。

1 R R・C L. 上原富美夫 (柏中央LC)



1976年 入会 (チャーターメンバー)
 // チャーターナイト委員長
 1977年 会長
 1981年 5周年委員長
 1985年 ZC
 1991年 15周年委員長

この度1リジョンRCを拝命、身に余る光栄と共に、重責を痛感いたしております。吉田政勝地区ガバナー方針の実践と、333-C地区ライオンズ憲章を遵守し、クラブ運営の活性化、リジョン内全クラブが100%会長賞を受賞出来ることを目標に、ZC、PR情報委員を始め各メンバーのご支援ご協力を頂き、目標達成に最善の努力を傾注し、任期を全ういたす所存でございます。各位の忌憚のないご意見ご鞭撻をお願い申し上げます。

2 R R・C L. 鈴木行正 (船橋京葉LC)



1980年～1981年 幹事
 1982年～1983年 会長
 1983年～1984年 会計
 1986年～1987年 ZC

このたび、RCという重責をにないました。あまりにも重職で非才をもってそれに耐えられるや否や、戸惑っている次第でございます。お引受けいたしましたからは粉骨砕身リジョン発展のため努力する覚悟です。国際会長ならび吉田地区ガバナーの方針を遵守し、習志野キャビネットを大いに盛りあげたいと存じます。そしてZCの御二方・PR情報委員と十分に連携を保ち責務を遂行したいと思って居ります。歴代RC同様ご理解あるご指導とご協力を切にお願い申し上げます。

3 R R・C L. 森野銀一郎 (千葉ポートLC)



1985年～1986年 会長
 1987年～1988年 二年理事
 1988年～1989年 ZC

この度、吉田キャビネットの構成員として、3R、R・Cを担当させて頂く事になりました。当3R、は十八クラブ中、十五年以上三十年近い経験と伝統あるクラブが七割を占めております。そういう状況の中で経歴の浅い若輩クラブ所属の小生がR・Cをお引受けする事については内心忸怩たるものが有ると共に緊張して居ります。ZC時代、先輩ライオンの方々の寛容な心と適確な御助言と御指導を頂き、任期を務めさせて頂いた貴重な経験を活かし、ホームクラブ諸ライオンの御協力を仰ぎ、誠心誠意、任務に取り組む所存でございます。何とぞ今回も御指導、御鞭撻、御叱責を賜ります様御願いして、ご挨拶といたします。

4 R R・C L. 大木三郎 (八日市場LC)



1967年～1968年 会計
 1971年～1972年 会長
 1977年～1978年 PR情報委員
 1980年～1981年 ZC

地区内最高のクラブを有し、5年ぶり佐原にて開催された年次大会も豊り多い成果をあげ成功裡に終了した伝統あるリジョンをお引受けすることになり身の引きしめる思いです。“出会い”“ふれ合い”を通じて経験した貴重な教訓を生かし、ガバナー方針の徹底を図ると共にライオンズの生命である奉仕活動を円かつに推進するため“エクステンション”“会員増強”を最重点目標に努力したいと思います。

5 R R・C L. 松本良夫 (君津中央LC)



1971年～1972年 会計
1973年～1974年 幹事
1978年～1979年 会長
1983年～1984年 PR情報委員
1985年～1986年 ZC
1987年～1988年 地区YE委員長

今般、不肖私が第5 Rのリジョンチャーマンをおおせつかりました事は、浅学非才の私として荣誉に思っております。

第5 Rの伝統と先輩ライオンの名誉を傷つける事のない様頑張りたいと思います。

第5 Rの今年度の目標は、会員の増強を行いたいと思います。5年前に比べますと、減少傾向になっております。今年度は、5年前と同じ位まで増強したいと思ひます。

第5 Rの目標

“会員増強と退会防止”

6 R R・C L. 村松 卓 (館山LC)



1975年～1976年 会長
1985年～1986年 ZC
1986年～1987年 CAB幹事
1990年～1991年 地区LEO委員長

まごころ奉仕の実践

リジョンチエアマンとは地区ガバナーの指導監督を受け責任者としてリジョンの運営に当るとある。リジョン内の融和を計り単一クラブの自主的活動を援助し常に奉仕こそ我々の生命であり使命であるを心に誓いリジョンの先頭に立ってまごころ奉仕の実践に努めることであると思ひます。とかく昨今の奉仕活動については安易な目先だけの糊塗に止まることが多いのではないかと思われ。6 Rの様な立地条件の悪い地区のクラブに於いては、総花的な奉仕活動でなく、目的を絞り地域に適合した活動を深く掘り下げて、まごころのある奉仕活動を実践して行くべきであると思ひます。

7 R R・C L. 高橋敏雄 (成東LC)



1981年～1982年 会計
1983年～1984年 幹事
1984年～1985年 会長
1987年～1988年 ZC

この度、7 R RCの大役をお引き受けし、誠に光栄であると同時に、その職責の重さに身の引き締る思いが致しております。

本年度、吉田地区ガバナーのアクティビティスローガンである『友情の絆で拡げるまごころ奉仕』を尊奉し、地区ライオンズ憲章の意義の理解と実践に精進して、微力ながら与えられた任務の遂行に最善を尽くす所存であります。

リジョン内の円滑な運営に対し、ZC、PR情報委員を始めとする7 Rクラブメンバー各位のご理解とご支援の程よろしくお願い致します。

R
C

1 R 1 Z ZC L. 齊藤慎司 (市川東LC)



1971年～1972年 幹事
1981年～1982年 会長
1983年～1984年 一年理事
1989年～1990年 二年理事

生まれて55年、学校出てから32年、ライオンズに入会して24年、いたずらに年を重ねて来た思いだ。人の為社会の為、盡して来た実績も満足感もない。ふとそんな事をふりかえるとつらい。個人の力はしれている。力を合わせ、奉仕出来る立場に、いさせてもらえる。それがこれからの生きがいになくてはいけないと。

1 R 2 Z ZC L. 吉岡 守 (松戸ユーカリLC)



1985年2月 入会
1985年～1986年 幹事
1989年～1990年 二年理事

今年度、1R、2ZのZCとして、その責務を果たして戴く事になりました。固より、その器では御座いませんが研修の機会を与えて下されたと思い、努力する次第です。皆様の御支援、御協力の程、宜しくお願い申し上げます。

1 R 3 Z ZC L. 高田 浩 (柏グリーンLC)



1980年～1981年 幹事
1983年～1984年 会長
1989年～1990年 ライオンテマーマ

若輩の身でありながら、ZCの要職をお受けする事になり、その責任の重さを痛感致しております。ガバナー方針「友情の絆で抜ける まごころ奉仕」の伝達を第一とし、CABとZ内クラブのパイプ役として、情報交換と、クラブ間の融和に努め、友情の輪を広げたいと思います。

2 R 1 Z ZC L. 桑島 功 (船橋ポートC)



1982年～1983年 幹事
1984年～1985年 理事
1987年～1988年 会長

この度ZCをお受けすることとなりました私ですが、まだ若クラブで経験不足なので、重責に耐え得るかどうか心配して居ります。RCの御指導の下、ガバナー方針をゾーン内各クラブに伝えと共に、楽しい例会と活性化に努めて行きたいと思っております。皆様方の御支援と御協力を心よりお願い申し上げます。

2 R 2 Z ZC L. 押見彰威知 (船橋東LC)



1973年8月 入会
1983年～1984年 幹事
1987年～1988年 会長
1989年～1990年 二年理事

この度はからずも、皆様のご推薦をいただき、ゾーンチェアマンをお引受けしました。友愛と奉仕の精神のもとに、私には大変な重責ですが、皆様のご協力をいただき、吉田地区ガバナーのご指導のもと、ゾーン内クラブとのパイプ役に徹したいと思います。

3 R 1 Z ZC L. 吉川佳彦 (佐倉LC)



1982年～1983年 幹事
1984年～1985年 PR情報委員
1986年～1987年 会長

本邦にLCが創立され早や40年を迎えようとしております。この間EXTに次ぐEXTにより急成長して参りましたが反面大きな、ゆがみが生じつつある事は否めぬ事実であります。この辺で腰を据えてリテンション問題を探究勘案し、知性豊かなクラブライフを享受出来る様みんなで努力する必要があると信じます。

3 R 2 Z ZC L. 中村勝和 (千葉LC)



1966年～1967年 クラブ幹事
1967年～1968年 302-E7地区PR委員
1971年～1972年 302-E7地区 Z幹事
1972年～1973年 302-E7地区 副幹事
1983年～1984年 333-C地区 年次大会事務局長
1986年～1987年 クラブ会長

県都千葉市にLCが誕生以来28年余、地区分割等を経て、現在市内は2つのゾーンを有し、多数のL.の誕生に伴ない若干の意見の相異はあってもL字のもとに発展してきました。

県下初のL. G.を当ゾーンより誕生させた今日、「和」をモットーに協力し且つ競い合い発展するための橋渡しが私の任務と考えています。

3 R 3 Z ZC L. 高品和夫 (市原南LC)



1968年～1969年 幹事
1973年～1974年 会長
1990年～1991年 地区LS委員

私の好きな言葉に「修身齊家治國平天下」の言葉があります。ライオンと呼ばれる人であるならば先づ身を修め、家を齎して事業を成功に導き出来れば社会に恩返しの意味での「友情の絆で抜ける、まごころ奉仕」に徹したい気持ちで一杯です。経験の乏しい井の中の蛙に皆様の暖い御支援を賜わりますようお願いいたします。

4 R 1 Z ZC L. 鈴木三郎 (佐原LC)



1972年10月 入会
1977年～1978年 二年理事
1983年～1984年 会長
1990年～1991年 地区PR情報委員長

ZCの大役を引受けこの責任の重大さを身の引締る思いです。ガバナー方針を理解し地区運営施策の伝達ゾーン内各クラブの運営適正化単位クラブの尊厳と自主性を重んじ事業の活性化とゾーン内各クラブの交流を計り努力を惜しむ事なく一年間任務を果たす所存です。メンバー各位のご指導とご協力をお願い致します。

4 R 2 Z ZC L. 米本新治 (干潟LC)



1979年～1980年 幹事
1985年～1986年 会長

ZCの指名を頂き責任の重さを痛感しております。Z内各クラブにガバナー方針の理解を頂いた上で、各クラブが個性を生かした運営と奉仕活動の成果を挙げられる事を期待します。

第4RC始め先輩各位の御指導と各クラブの御理解と御協力を賜わり乍ら、Z内の友好にも努めます。

以上御挨拶と致します。

5 R 1 Z ZC L. 遠山金麻津 (木更津LC)



1966年5月 入会
1970年～1971年 会計
1974年～1975年 幹事
1977年～1978年 会長
1989年～1990年 会長

この度ZCをお受けすることになり浅学非才の身、重責に耐え得るか心配して居ります。お引受けしたからにはゾーン内クラブ員の皆様に御協力を得てガバナー方針をゾーン内各クラブ員に伝えと共にクラブ間の融和と楽しい例会作りに努めてゆきたいと思ひます。皆様方の暖かい御支援と御協力をお願い申し上げます。

5 R 2 Z ZC L. 高梨保一 (富津LC)



1980年～1981年 会計
1982年～1983年 幹事
1985年～1986年 会長
1987年～1988年 CAB副幹事
1988年～1989年 333複合地区ガバナー協議会事務局管理委員

この度計らずもZCの大役を引き受けてその責任の重大さを痛感しております。ガバナー方針にそって積極的な活動が行える様努めたいと思ひます。各クラブの自主性を尊重し相互の融和を図り地域に密着した活動を展開したいと思ひます。一年間御支援、御協力よろしくお願い致します。

6 R 1 Z ZC L. 鈴木俊一 (館山中央LC)



1968年9月 入会
1968年～1969年 理事
1978年～1979年 会長

ZC就任のご指名頂き、初心を顧みる機会を与えて戴いたものと心得ます。クラブメンバーの友情の結束と、Z内のクラブ同志の、距離を少しでも近づける事が出来ればと願って居ります。御指導と御協力を御願いしてご挨拶にいたします。

6 R 2 Z ZC L. 武田武久 (房州白浜LC)



1968年～1969年 理事
1979年～1980年 会長
1983年～1984年 会長

今回、ゾーンチェアマンの大役を御引受けして責任の重大さを感じております。お引受けしたからには、先輩諸氏の御指導を仰ぎながら一年間ガバナーの方針の伝達パイプ役及び、奉仕活動に専念し、ゾーン内の各クラブの活動の活性化及び、親睦を計って参りたいと思っております。

7 R 1 Z ZC L. 中川都弘 (上総一宮LC)



1981年～1982年 幹事
1982年～1983年 会計
1984年～1985年 CAB副幹事
1985年～1986年 会長

今時の流れの早さに戸惑い、マンネリ化している奉仕活動。LCは今何をすべきか。もう一度原点にかえり地域が何を求めているか考えてみる時期に来ている。この度、ZCの大役をお引受けしてその責任の重大さを身にしみて感じております。ガバナー方針を尊重しCABとのパイプ役として又各クラブ会長の方針をバックアップしながら地域社会に対する真の(真心奉仕)を提唱し地区運営とクラブ活性化の一助となる様努力したいと思ひます。

7 R 2 Z ZC L. 榊原吉男 (東金LC)



1984年～1985年 幹事
1988年～1989年 会長
1990年～1991年 二年理事

この度、計らずもZCの大役をお引受けし、重大な責務を果せ得るか不安で身の引き締まる思いです。ガバナー方針を理解し、会議決定事項を的確に伝達、ゾーン内各クラブの交流を計り、親睦と友情を一層深めながら、一年間悔いのないよう任務を果したいと存じます。皆様方の暖かいご支援とご協力をお願いいたします。

地区PR情報委員長 L. 蔭田辰男 (習志野LC)



1971年10月 入会
1977年～1978年 幹事
1982年～1983年 会長
1983年～1984年
ガイディング ライオン

図らずも地区PR情報委員長という大任にあたり、責任の重さを痛感しています。浅学非才の身ですが、山内副委員長をはじめ鈴木・吉川編集委員、地区PR情報委員の皆様御協力を仰いで、責任を全うしたいと存じます。地区ニュースの編集に当っては、習志野CABの特色を少しでも出せればと考えています。

地区会則会員増強EXT委員長 L. 関 重雄 (佐原LC)



1971年10月 入会
1978年～1979年
333-B PR情報委員
1980年～1981年 幹事
1986年～1987年
地区YE副委員長
1987年～1988年 会長

前年度、333-C地区幹事に指名されて一年、多忙な毎日でありましたが、普通では出来ない体験をさせて頂きました。この経験を生かして、又、ガバナー方針を十分に理解をし、会員増強、エクステーションに微力ながらがんばる所存でございます。会員各位のご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

地区YE委員長 L. 望月武峰 (習志野LC)



1972年2月 入会
1979年～1980年 会計
1987年～1988年
幹事、地区国際協調
1988年～1989年
地区YE副委員長
1990年～1991年 //

YEは国際協調の中でLCIFと共に主要な We, Sereve であります。YEを通しての国際交流で交換学生の知識を広げる喜びを心から味わい世界平和の盟友として友好の絆を広げ国際人として知識に満ちた人生が送れるように挺身する喜びをYE活動を通して実践して行くことを望みます。『人生は出会いである。』YE副委員長の体験を元に本年度頑張ります。

地区長期計画リサーチ指導力育成委員長 L. 中村清成 (八千代LC)



1969年6月 チャーターメンバー
1972年～1973年 幹事
1974年～1975年 会長
1977年～1978年 B地区 ZC
1982年～1983年
地区PR情報委員長
1985年～1986年 RC

ライオンズの長期展望と現状への堀起し、独立10年後のC地区が21世紀に向けて第一歩の方向付は、繁栄と停滞の消長を齎す貴重な年度かもしれない、ACTの見直し、慣例化した運営、女性会員と会員増強とEXT、高齢化社会への施策。LCの社会性、その他の課題を含めガバナーの指導のもと、秀れたパートナー小西しと、皆様の英知をお願いして頑張りたい。

国際協調・LCIF委員長 L. 山内克己



1975年～1976年 幹事
1977年～1978年 会長
1986年～1988年
地区YE委員長
1988年～1989年
地区YE委員長
1989年～1990年 ZC

現在のLCの活動にて、その骨髄と成るのはLCIFとYEにはかならない。10年前頃には地域社会の分野にてLCの奉仕は心から歓迎されたが、恵まれた環境となった現在、その方針も現況に沿った奉仕活動に転換すべき時代では無からうか？
地球規模にて人類の未来を見つめた時、今我々は何をすべきかを皆さんと検討すべく、頑張って参ります。

地区環境保全ACT委員長 L. 木下 務 (船橋LC)



1980年～1981年 幹事
1983年～1984年 会長
1986年～1987年
地区国際協調YE委員
1987年～1988年 ZC
1988年～1989年 CAB幹事

吉田ガバナーが三つの重点目標のひとつに「アクティビティの充実、発展」を掲げられ、さらに重点目標に添う具体的運営方針10項目に「環境保全運動の推進」を打ち出されました。

今や地球そのものにかかわる大きな問題を身近なことからアクティビティに反映し、発展に結びつけるよう、ライオン各位と共に努力して参りたいと思います。

地区視力ファースト献血・献腎推進委員長 L. 川崎忠男 (下総中山LC)



1969年 チャーターメンバー
1974年～1975年 幹事
1981年～1982年
会長、地区ニュース編集委員
1987年～1988年 ZC
1989年～1990年 RC

広範且多岐にわたる、役職をいただいて恐縮している。献血、献腎、献腎等簡々の必要性は痛感し従来トライして来たつもりだがそれはあく迄、クラブ、ゾーン、リジョン、レベルである。地区全体として考えると話は亦別であろう。地区に蓄えられた情報を収集し分析、当地区内90クラブにどうフォロー出来るかと思っております。よろしくお願い致します。

地区薬物乱用防止・糖尿病教育委員長 L. 渡邊瑞男 (船橋東LC)



1970年6月 チャーターメンバー
1977年～1978年 幹事
1980年～1981年 会長
1982年～1983年
地区ACT・福祉・環境保全委員長
1987年～1988年
地区PR情報委員

ダメ！ゼッタイ！！麻薬・覚せい剤・シンナーの乱用をなくそう。今、国をあげて薬物乱用防止にとり組んでいる現状を認識し、薬物乱用のない明るい健康な社会を実現するため、私達ライオンの力を結集し啓蒙運動を展開したい。
近年小児糖尿病患者が急増している。本県でも1万人の小児が「つぼみの会」を中心に闘病している。対策・方法を模索し、愛の手をさしのべたい。

地区視力保護・言語障害・盲人福祉委員長 L. 椎名益男 (千葉LC)



1971年～1972年 幹事
1988年～1989年 会長
1990年～1991年 二年理事

先進諸国では、糖尿病性網膜症が、そして、発展途上国では栄養障害による失明が大問題になって居ります。眼科専門医等による講演会を積極的に開催し、ライオンズクラブ会員の皆さん全員に世界の失明の現状を、角膜移植も含めて、完全に把握して頂いて、初めて、視力ファーストの事業計画も、心の通ったアクティビティとして推進出来るのではないのでしょうか。

地区LEO委員長 L. 笹本 瞭 (市川東LC)



1973年～1974年 幹事
1977年～1978年 会長
1981年～1982年 ZC
1985年～1986年 RC
1989年～1990年
地区LEO委員長

再度LEO委員長に任命され、その責任の重大さを感じる次第ですが、仰せつかった以上は、ガバナー方針に従いLEOクラブの向上に邁進することを決意致しました。

特に新クラブ結成に対しLEO委員各位、力を結集し努力する所存ですので何卒ブラザークラブのご理解とご協力の程お願い致します。

地区LS委員長 L. 村田増雄 (千葉京葉LC)



1975年6月 入会
1981年～1982年 副幹事
1985年～1986年 会長
1991年～1991年 ZC

近年、女性の社会的活躍は各階層に目覚ましいものがあります。地域において、各種女性団体が結成され、それぞれ社会に貢献しておられます。我々LSも12クラブとなりましたがLC90に対して、少ないように思います。

奉仕の尖端を担う我々LCとしてLSの活躍を期待したいものです。目標としてLS・Cの結成を!! 各クラブの皆様のお手伝いをしたいと思っています。

地区会員大会参加委員長 L. 小石 税 (船橋ポートLC)



1982年～1983年 会長
1985年～1986年 ZC
1988年～1989年
地区PR情報委員長
1989年～1990年 二年理事
1990年～1991年 RC

昨年2R、RCとして吉田地区ガバナー選出の大役を行いましたので、今期吉田ガバナーが主催する大会に、多くのライオンズメンバーが出席する様に、又は感動する大会に成る様に意見を申し上げたいと思います。

地区運営特別委員長 L. 北村泰彦 (千葉LC)



1962年 チャーターメンバー
1964年～1965年 幹事
1972年～1973年 CAB幹事(E-7)
1976年～1977年 333-B.DDG
1986年～1987年
ライオン誌編集委員
1989年～1990年 地区長期計画
リサーチ委員長

①年次大会分科会に提案した「大会の在り方」に就いて、具体案を策定し、クラブとのコンセンサスの深化を計りたい。
②又、複合地区レベルでの検討課題となる「合同ACT基金造成」テーマに就いても、既に昨年度来、「合同ACT」自体が、クラブアンケートによって、方向の指針を得ていることに関連させて前項と併せ基本構想を進めたい。
③今後のアンケートにご協力を!

地区総務委員長 L. 竹内 清 (習志野LC)



1971年10月 入会
1974年～1975年 二年理事
1979年～1980年
ライオンテマー
1984年～1985年 幹事

今年度、地区総務委員長を拝命し、緊張のうちにこれからの一年間、吉田ガバナーの方針に基づき、CAB構成員の一人として、全力をつくし、任務の遂行に努力してまいります。

皆様方の御指導、御協力を切にお願いいたします。

地区運営委員長 L. 田久保良作 (習志野LC)



1982年3月 入会
1986年～1987年 二年理事
1987年～1988年 一年理事
1990年～1991年 幹事

キャビネット内局員のお話をいただきました時、何をやる役なのか困惑しました。具体的な仕事についてお伺いしたところ、概略キャビネット幹事の補佐役で、主たる任務は運転手兼雑役係であるとのこと、それなら今年1年間、クラブ幹事として雑役を経験したので、次期は更にもう1年間地区の運営の為に、一所懸命に努力したいと思った次第であります。

地区企画委員長 L. 平田博和 (八千代LC)



1981年5月 入会
1982年～1983年 二年理事
1984年～1985年 幹事
1989年～1990年 会長

八千代LCメンバー各位のご推薦をいただき、初体験のキャビネット委員。クラブ会長の時より、緊張と不安でいっぱいですが、歴代先輩ライオンを目標に吉田ガバナーの方針に基づき、333-C地区各ライオンの御指導のもと、一生懸命職務をまっとうしたいと思っています。1年間、よろしく御願い致します。

地区財務委員長 L. 臼田康弘 (習志野LC)



1987年5月 入会
1988年～1989年
ライオンテマー
1989年～1990年
副テールツイスター

91～92キャビネット構成員等の一員となりましたL臼田康弘です。61年5月に習志野LCに入会致しました未熟者です。この期間第二事業委員、テーマ長、テールツイスター、第一事業委員長と経験をさせていただきましたが、まだ、何も分って居りません。構成員等の一員として、自分の出来る範囲で一生懸命、頑張りますので、諸先輩Lのご指導を宜しくお願い致します。

地区クラブ財政委員長 L. 神谷孝治 (習志野中央LC)



1985年～1986年 幹事
1987年～1988年
ライオンテマー
1988年～1989年 二年理事
1990年～1991年
第三副会長

私は明るく楽しいクラブライフをモットーとしていますが、副会計という大役を任命され戸惑いを感じています。ガバナーから「難しく考えず楽しみながらクラブ発展に努力しよう」の一言で決意……。内局員の一員としてガバナーの方針に従い足もとをしっかり支え、有意義な活動を諸先輩と友好を深め、勉強させていただきたいと思っています。よきアドバイスを!

PR情報副委員長 L. 山内豊彦 (船橋北LC)



1982年～1983年 一年理事
1984年～1985年 会計
1987年～1988年 会長
1989年～1990年
地区PR情報委員

蒔田委員長のもと、7つのリジョンのチームワークづくりをモットーに、ライオンズクラブの中でも最も意義ある委員会活動を展開できる様努めたいと思います。特にノンライオンに対するPRを試みたいと考えていますので御指導、御協力の程、よろしくお願い致します。

地区会則会員増強EXT副委員長 L. 大木康弘 (成田LC)



1972年4月 入会
1975年～1976年 会計
1986年～1987年 会長

一年間頑張っていくつもりです。御協力を願います。

地区YE副委員長 L. 坂巻真一 (柏グリーンLC)



1983年～1984年 幹事
1990年～1991年 地区YE委員

今年度、333-C地区YE副委員長をお引き受けることとなり、吉田ガバナー及び望月委員長のもと、YE活動に全力をつくすつもりでおります。

未来ある青少年のため、少しでも、より良いお手伝いができればと、頑張っていくつもりですので、各クラブ皆様方の積極的なご協力を、宜しくお願い申し上げます。

地区長期計画リサーチ・指導力育成委員会副委員長 L. 小西宗仁 (船橋LC)



1983年6月 入会
1985年～1986年 幹事
1988年～1989年 CAB副幹事
1990年～1991年 会長

意の興るに憑(よ)りて○時代の変節、進化に目を閉じて情性を重ねても同志の信頼は得られない。国際的環境保全急務の時、勇気ある提言と継続の力を信じ確かな一歩が求められる。秀抜中村清成委員長の補佐として生来怠惰の私如きが、意の興るを憑りて犬馬の勞に汗しても遼東の豕(いのこ)か。願わくば諸先輩の厳しきご直言とご叱正を。

地区国際協調LCIF副委員長 L. 平田 稔 (鎌ヶ谷LC)



1978年～1979年 会計
1980年～1981年 幹事
1984年～1985年 会長
1986年～1987年 地区PR情報委員
1988年～1989年 CAB副幹事

吉田ガバナーの方針を良く理解して、国際的奉仕活動、LCIFに関して、自分自身も勉強し、C地区メンバーに御理解と御協力を願ひ、多数のメルビン・ジョーンズ・フェローが生れる事を念じます。微力ながら、地区LCIF委員長を補佐して、目標達成に努めて行きたいと思っています。皆様のご支援をお願い致します。

地区環境保全・ACT副委員長 L. 米良一美 (茂原長生LC)



1968年～1969年 理事
1977年～1978年 幹事
1983年～1984年 会長
1987年～1988年 "

経済発展と環境保全は、相矛盾する大問題です。全地球人が、ようやく考え始めたエコロジー・ラインオンズでも真摯に取り組むべき大テーマです。ACTとエコロジーとの組合わせを、マクロの視野に立ち、地球に生きる自分と云う意識を持ち、皆様方と一緒に考えACTに反映する様に進めて行きましょう。メンバーの皆様のご指導ご協力をお願い致します。

地区視力ファースト・献血・献腎推進副委員長 L. 及川雅賀 (船橋東LC)



1977年1月 入会
1981年～1982年 第三副会長
1984年～1985年 会長

今度、吉田先生よりキャビネットに出て欲しいと申し出がありました。クラブでは献眼運動を担当して5年になります。これまでの経験を活かして責任を果たしたいと思っています。それには皆様と親睦を計り、出来れば組織化した啓蒙運動の必要性を強調していきたい、そしてキャビネットのメンバーとして充実した一年間を送りたいと念じています。

地区薬物乱用防止・糖尿病教育副委員長 L. 斎藤一夫 (佐原LC)



1971年 入会
1975年～1976年 会計
1976年～1977年 幹事
1982年～1983年 会長
1989年～1990年 ZC
1990年～1991年 CAB会計

3年連続のキャビネット構成員の経験を生かしガバナー方針にそって委員長指導のもと、よりよい奉仕活動に努力したいと思ひます。会員の皆様の御協力をお願いいたします。

地区視聴力保護・言語障害盲人福祉副委員長 L. 楠岡 巖 (四街道LC)



1969年～1970年 幹事
1981年～1982年 会長
1990年～1991年 ZC

四街道市内に県立盲学校がある関係でご指名をいただいたと思ひます。1952年ヘレンケラー女史が盲人の為の援助を訴えて以来国際協会は特にこの事業に力を入れております。あれもこれもでなく話し合せて二つくらいにしばって、その目的のために各クラブをお願いして、1人で多くの方々に、思いやりの心、愛をさしあげるべく推名委員長をたすけがんばります。

地区会員大会参加副委員長 L. 佐藤錦也 (習志野中央LC)



1985年～1986年 二年理事
1989年～1990年 会長

尊敬してやまない習志野LCのL吉田正勝のガバナーご就任を心よりお祝い申し上げます。この度、地区大会参加委員会に所属することになりましたが、経験も浅く何をしたらよいのか戸惑っています。幸いなことにすべて御存じの小石委員長がいらっしゃいますので、委員長の手足となって頑張る所存でございます。宜しくご指導のほど、お願いします。

地区会計監査委員 L. 小川恵功 (君津中央LC)



1974年～1975年 会長
1979年～1980年 B地区PR副委員長
1981年～1982年 ZC
1983年～1984年 D.D.G.(RC)
1987年～1988年 CAB幹事

この度地区CAB会計監査を仰せつかり、その職務の重大さを痛感しております。微力ですが自己研鑽に努めながら任務の遂行と地区発展に尽力いたす所存ですのでよろしくお願い致します。

地区会計監査委員 L. 鈴木 脩 (千葉中央LC)



1965年～1966年 幹事
1972年～1973年 E7地区副会計
1975年～1976年 会長
1980年～1981年 ZC

地区会計監査委員の重責を痛感して居ります。地区のLから提出された金がどのように効率良く運用され、正確に処理されているかを見させていたくと共に、地区会計を始め役員各位のご指導を得て、地区の会計の在り方をしっかり勉強して行きたいと思ひます。L各位の忌憚無いご意見、ご指導をお寄せ下さいませよう心からお願い申し上げます。

地区1R PR情報委員 L. 鈴木 稔 (柏中央LC)



1977年～1978年 会計
1987年～1988年 会長

此の度1R地区PR情報委員に推挙され、その職務に重責を感じる次第であります。各LCメンバー各位のご協力とご指導を仰ぎながら全うする所存でございます。地区ニュースは各LCの情報、ACTを適格に集々しその活動を報道しライオンズを広め一人でも多く新しいメンバーが入会される事に役立てば幸いです。

地区2R PR情報委員 L. 桜井留治 (船橋京葉LC)



1980年～1981年 会長
1981年～1982年 幹事
1982年～1983年 ZC
1984年～1985年 会計

このたびPR委員に推薦頂き身の引き締まる思いです。顧りみますと藤田キャビネットの時、ZC吉田キャビネットでPR委員をやらせていただく事になり大変縁があります。この一年間諸先輩が築てきた実績をけがすことのない様PRに全力を傾注する覚悟です。どうかR内のL各位の格段の御協力を賜ります様お願い申し上げます。

地区3R PR情報委員 L. 鹿野國秀 (千葉ポートLC)



1989年～1990年 会長

今期PR情報委員を仰せ付かりその責任の重さに身の引き締まる思いです。ガバナーの意思をメンバーへ、各クラブの情報をキャビネットへ、情報交換のお手伝いが出来れば幸いです。会員皆様の御協力をお願いします。ウィーサーブ

地区4R PR情報委員 L. 勝股 清 (八日市場LC)



1975年～1976年 会計
1977年～1978年 幹事
1979年～1980年 会長

ガバナー方針に対しリジョン内各ライオンズクラブの関係委員と連絡を緊密にしライオンズの高揚のため会員の親睦と奉仕活動をユニークにとりあげライオンズはもとより地域住民にもクラブ活動の本質を十二分に認識・理解して頂けるよう、最善をつくしたい。

地区5R PR情報委員 L. 中野孝雄 (君津中央LC)



1981年～1982年 会計
1983年～1984年 幹事
1989年～1990年 会長

今年PR情報委員を引き受け身の引き締まる思いです。キャビネットと各クラブのパイプ役として一生懸命頑張っていくつもりであります。メンバーの皆様方のご指導ご協力をよろしくお願い致します。

地区6R PR情報委員 L. 川合敏男 (館山LC)



1983年～1984年 会計
1984年～1985年 幹事
1987年～1989年 地区YE委員
1989年～1990年 会長

以前地区YE委員をやらせて戴き、沢山の思い出を心に残す事が出来ました。折々の一コマが懐しく、センスと能力を必要とするPR情報委員の大役を引き受けてしまいました。微力ながらこの一年間委員長ご指導のもと頑張る所存で御座います。6Rの素晴らしいメンバーと優れたアクトを紹介し、PR情報活動を自らも楽しめる様な委員になりたいと考えております。

地区7R PR情報委員 L. 篠崎 修 (成東LC)



1988年～1990年 幹事
1990年～1991年 会長

この度、身に余る大任をお受け致しまして、責任の重さを感じております。ガバナー方針に則り、リジョン内の奉仕活動の情報収集に努力してまいりますので、メンバー各位の絶大なる御協力をお願い申し上げます。

地区ニュース編集委員 L. 鈴木 栄 (習志野LC)



1968年7月 入会
1970年～1971年 会計
1976年～1977年 幹事
1982年～1983年 CAB副幹事
1983年～1984年 会長

地区ニュース編集委員を委嘱され、責任の重大さを痛感しております。皆さまに親しまれ、見易く写真など多く入れユニークな明るいニュースを作成したいと思しますので、地区の身近かな情報を提供して頂き誰もが目を触れてくれる様な身のある情報紙になればと考えていますので皆さまのご協力をお願い申し上げます。

地区ニュース編集委員 L. 吉川昌三 (習志野LC)



1981年2月 入会
1988～1989年 二年理事

クラブ外の仕事をさせて頂くのは初体験です。非才を顧みず、チャレンジ致します。これも勉強の機会を与えられた幸福と考え今年度、勤めさせていただきます。宜敷くお願いします。

地区YE委員 L. 石井秀雄 (船橋中央LC)



1986年～1987年 一年理事
1990年～1991年 地区YE委員

外国のすばらしい学生と付き合い感激を味わってもらう為、又日本の若者に諸外国の実生活、自然を肌で感じてもらう為、手身近で且最も有意義なYEプログラムを、全クラブの年間スケジュールに組み入れていただきたいと思います。21世紀を担う日本の若者達にとって、国際感覚を養っていく事が必要不可欠の事であると思っております。御支援を御願い致します。

地区YE委員 L. 飯塚信一 (成田LC)



1965年 チャーターメンバー
1974年～1975年 会計
1978年～1979年 会長
1990年～1991年
地区YE委員

成田LC在籍26年を経たが凝々と続くLCの事業をみると時代の推移と共に変化している。

最近、成田は国際都市の機能を果たしているが国際的な理解を深めていく事はLCの重要な目的である。YEは青少年が国際的理解を深める役割を荷っているし青少年の健全育成と国際平和親善の重要なACTである。

地区YE委員として精一杯努力したい。

地区YE委員 L. 門脇瑛太郎 (旭LC)



1983年～1984年
ライオンテマーマ
1990年～1991年
地区YE委員

昨期にひきつづきYE地区委員をお引き受けすることになりました。激しく変化する世界の現況に対し、広く世界中の仲間と、相互理解、信頼を深める為、青少年の外国での生活は限りない平和へのこうけんになるだろうと思います。この少年達の派遣受け入れに少しでも力添えが出来ればと微力を傾けたいと思います。地区役員の皆様のご指導を切にお願い申し上げます。

地区YE委員 L. 佐々木幹人 (木更津中央LC)



1969年2月 入会
1976年～1977年 幹事
1978年～1979年 第一副会長

はじめまして、木更津中央ライオンズの佐々木と申します。今回YE委員を指名され初めての事なので不安です。一度クラブを退会し昨年度再入会した身で、まだ新人同様です。何かとわからない事が多いので、御指導のほどよろしくお願いいたします。

地区YE委員 L. 田中昌輝 (館山中央LC)



1973年10月 入会
1978年～1979年 会計
1981年～1982年 幹事
1986年～1987年
地区YE委員
1989年～1991年 //

ライオンズクラブによるYEPは30年の歴史を持っている。社会一般のホームステイも定着した現在である。ルールに乗ったプログラムのためか私自身ややマンネリかと思う昨今ではあるが、地域は地球全体。時は一年中となりつつあり。当然YE生は真剣にフレッシュな心をもって応募して来る事を受止め今年一年間頑張らねばと感じる次第です。

地区YE委員 L. 清水金二 (大網白里LC)



1978年 チャーターメンバー
1984年～1985年 会計
1988年～1989年 幹事
1990年～1991年 会長

今回、小生YEについては、不勉強で、何もわからないに至らない私にもかかわらず、地区YE委員に御指名を受けたものです。無事任務を遂行出来るかと不安で一杯です。しかし、先輩メンバーの御指導を賜り、任期中は、自分の持つ力を出し切って、一生懸命に役を努める覚悟でございます。よろしく御指導の程、おねがい申し上げます。

地区委員

地区レオ委員 L. 常世田耕作 (銚子中央LC)



1974年5月 銚子LC入会
1987年～1988年
地区LEO委員

再びレオ育成の大命を頂きました。限り有るいのちの中で少しでも次代の繁栄の為の最高の奉仕であるこの任に感激致して居ります。ご承知のように銚子レオクラブは地区内外の最先端クラブとして活躍いたしました。

今皆様と共に新しいクラブの誕生と既存クラブの育成を賭け美しい国土すばらしい地球を次代に伝える一端を荷ない得れば幸と存じて居ります。

地区レオ委員 L. 岡村 理 (富津LC)



1989年～1991年
クラブレオ委員長

We Serve の精神を自分に問い直し、子供達と共に、勉強させて頂きたく、皆様方のご指導ご協力、そしてご意見を承りたく、宜しくお願い申し上げます。

地区LS委員 L. 上山立男 (館山LC)



1973年～1974年 幹事
1983年～1984年 会長
1986年～1987年
CAB副幹事

一年間頑張ります。
御協力を願います。

地区LS委員 L. 高橋宮男 (船橋中央LC)



1974年～1975年 会計
1977年～1978年 幹事
1979年～1980年 会長
1988年～1989年
地区レオ・ライオネス委員

県下にライオネスクラブが誕生して15年目に入りました。ネスの皆様、特に三役の方、女性にしか出来ない奉仕活動が沢山ありますが、無理のない様に、大いに女性の力を発揮して頂いて家庭にクラブに頑張ってください。私に手伝える事があれば御協力致します。

地区LS委員 L. 清宮 浩 (佐原LC)



1988年～1989年
クラブ幹事
1990年～1991年
地区企画委員長 (副幹事)

今回はLS委員をお受けいただきました。いろいろ勉強させていただきました。前年は地区副幹事を経験し、多少なり、地区内のLSCの活動状況が見えて来た感が致します。吉田地区ガバナーの方針に添い、LS委員長の方で頑張りますのでよろしく御願い申し上げます。特に地区内のLSメンバーの皆様には、この一年、共に頑張りますのでよろしく御願い申し上げます。

地区運営特別委員 L. 松丸善次郎 (下総中山LC)



1971年～1972年 会長
1972年～1973年 ZC
1981年～1982年
地区大会委員長
1983年～1984年
DDG (RC)

私の思うこと。
地区運営について少し勉強したらと吉田ガバナーからお声がかったので、よい機会を与えて頂き有難く非才を顧みずお引受けしました。吉田ガバナーのご指導と皆様のご協力を得ながら地区運営に万全の努力を傾注して参りたいと思っております。何分にも始めの仕事で皆目見当もつきませんが運営費について検討して見たいと考えております。

地区運営特別委員 L. 木場富久美 (袖ヶ浦LC)



1976年～1977年 幹事
1978年～1979年 会長
1980年～1981年 ZC
1987年～1988年
地区長期計画リサーチ指導力開発委員長

333-C地区の輝かしい伝統を継承して、吉田キャビネットが誕生しました。
地区のスムーズな運営は構成員のすばらしい指導力と、単位クラブの絶大な協力が不可欠です。吉田ガバナーは伝統の上に新しい感覚でよりよい地区運営が期待されます。
与えられた役職を充分理解し、地区運営の手助けが出来るよう懸命に努力致します。

地区YE特別委員 L. 後藤隆一 (柏中央LC)



1983年～1984年
地区YE・LEO委員
1986年～1987年 会長
1988年～1991年
MD 333 YE委員長

何度めかのYE特別委員を拝命することとなりました。各年度のキャビネットにて、数多くの貴重な知己を得る機会に恵まれ、本当に有難いことと感じております。本年度は特に、CAB構成員の皆様の中に過去ご指導を賜りました方々のお名前が多く、頼もしさと懐かしさを想い、一年間ご一緒させて戴ける幸運に感謝する次第です。

地区YE特別委員 L. 青木 孝 (松戸東LC)



1981年～1982年 会長
1987年～1989年
地区YE委員
1990年～1991年
地区YE委員長

地区YE特別委員として引続きクラブYE活動のお手伝いすることとなりました。
YE活動も各クラブの御認識が広められ、ACTとして青少年の健全育成、国際交流と交流理解に大きな成果を挙げております。
本年度も地区YE委員は一年中計画と実施に追い廻されることでしょう。御理解と御支援をお願い致します。

年次大会名誉委員長 L. 藤田定男 (習志野LC)



1976年～1977年 会長
1977年～1978年 DDG
1982年～1983年
地区ガバナー

フレイ・フレイ・吉田 吉田ガバナーの誕生を誰よりも強く待望していた私です。
それが実現した今日、心から喜びを感じております。
かって私が、1983年度の地区ガバナーを務めた時、地区幹事として私のキャビネット運営を支えてくれた人が他ならぬ吉田政勝であったからです。次期年次大会はきっと意義あるものになる事でしょう。私自身、今から楽しみにしております。

地区委員

地区年次大会委員長 L. 小泉 昭 (船橋LC)



1988年～1989年
333-C地区ガバナー

名誉顧問が兼任するケースは初めてですから吉田ガバナーに於て何か含むところが有ったのかも知れませんが、まだその気配は感じません。第38大会が皆様に納得され、ガバナーの意に沿えるように出来れば幸と考えています。有能な、習志野LC安島嘉一郎Lを委員長代行に、同中里正明Lが事務局長として一切取仕切って下さる事になっていきますので全く安心です。

地区年次大会委員長(代行) L. 安島嘉一郎 (習志野LC)



1973年 7月
藤沢LCより転籍
1979年～1980年 幹事
1984年～1985年 会長

地区年次大会を幕張メッセでお待ちします。
年に一度、地区のライオン達が一ヶ所集ってライニズムを謳歌する。そして日々の奉仕や心の豊かさの積み重ねがあれば尚一層盛り上ってくる。その日の為に私共は精一杯の準備をして待つ積りでいます。而も皆様が思う存分意気軒昂出来る場所として一日を楽しめるよう出来る限り細心の心配りをして参りたいと思います。

地区年次大会事務局長 L. 中里正明 (習志野LC)



1978年 10月 入会
1981年～1982年 二年理事
1988年～1989年 幹事

“メッセ”でお待ちします。
重厚な歴史を刻んだ佐原市での年次大会の後は習志野市に隣接する千葉の新しい歴史の創造を目指す“幕張メッセ”、ここが我らの①パッチで埋め尽されることを念願に私達は年次大会の本質を討議し参加されるL各位の充実感をテーマに大会準備を始めた。やがて333-Cがホストの中心になって国際大会 かも、夢じゃないね“壮年よ大志を抱け”。

地区年次大会顧問 L. 藤井國雄 (習志野LC)



1967年 3月
チャーターメンバー
1972年～1973年 幹事
1978年～1979年 会長
1982年～1983年
地区大会事務局長

先の藤田ガバナー時には年次大会事務局長、そして今回の吉田ガバナー誕生には柄にもなく年次大会顧問として処遇される誠に光栄であると同時に又身の引締る思いである年次大会こそ、そのキャビネットの優劣を決し評価を得る大きな一大イベントであり何んとしても成功俵に終らせる様にしたい、その為には委員一同心を一し英知を結集して事に当り習志野キャビネットの真価を示したい。

地区年次大会顧問 L. 武内成浩 (習志野LC)



1967 チャーターメンバー
1974年～1975年 幹事
1979年～1980年 会長
1982年～1983年
CAB副幹事

LCの最も大切なイベントは年次大会だと思います。今回習志野Cが、CAB担当に当り、構成員の指名を、吉田ガバナーエレクトから頂き、私も健康を害してクラブ活動から遠ざかっていたので、辞退申し上げたのですが、たつての要請から、こんな私でも何かお役に立てればとお引受けした次第です。この上は年次大会の成功を願いつつ皆さんと共に精一杯頑張ります。

地区年次大会顧問 L. 橋爪 忠 (八千代LC)



1978年～1979年 幹事
1982年～1983年
会長・地区大会副委員長

333-C地区誕生以来10周年も
終り11年目を迎え吉田ガバナーより
今年度の地区年次大会顧問に指
名され習志野キャビネットのホス
トクラブ八千代LCも前回の1982
年度の藤田ガバナー以来2回目でも
有り前ホストクラブの経験を生
かし八千代LCの代表として中村
清成L、並びに平田博和L、共々
ホストクラブ全員の御協力をお願
いし、年次大会が大成功に終る事
を希望します。

地区年次大会顧問 L. 鈴木晃秀 (船橋北LC)



1982年～1983年 会長
1987年～1988年 ZC
1989年～1990年 RC

はからずもこの度大会顧問をお
引き受けする事になりましたが、
私のような非才な者がこの大役が
全うできるか一抹の不安はありま
すが、大会が盛会裡に終る事を念
じ、私なりに努力をしてみたいま
す。どうか皆様方にも尚一層のご
協力、ご支援を賜ります事をお願
い申しあげる次第でございます。

地区年次大会顧問 L. 富原 啓 (習志野中央LC)



1983年～1985年
チャーターメンバー・幹事
1986年～1987年 会長
1989年～1990年 二年理事

歴代のガバナーの横顔をいろい
ろ拝見いたしてきましたが、堅実
なうちに、内に秘めた情熱が我々
を魅了していました。次期ガバナー
エレクト吉田政勝Lは非常に明る
く、開放的な雰囲気の中に細かい
気配りの出来る方であります。私
もファンの一人として彼が完全に
ガバナーを燃焼しつつす様に傍か
ら、120%協力する積りですのでよ
ろしく御願いたします。

1 R 1 Z 会長 L. 山本繁樹 (市川LC)



前年度で30周年を終わりましたが、その節はさゝやかに感謝をこめて行うことゝしましたので広く多数の方々には御案内致しませんでした。今年度は新たな気持ちでクラブ運営に当たりたいと考えております。会員の増強は基本であり、如何に一年間楽しく奉仕活動を行うかを併せ考えると責務は極めて重く、目下模索中であります。今期宜敷願上ます。

1 R 1 Z 会長 L. 田邊誠二 (市川東LC)



奉仕も我々が与えるのではなく育てて行かなければならない時期に来ていると思います。会員皆様の協力がなければクラブ活動はおろか運営をしていく事もできません。クラブの活性化を計る事は奉仕に繋がっていくと思います。地域社会にいかによりよい意義のある奉仕活動ができるか全力をそそいでこの一年間がんばっていききたいと思います。

1 R 1 Z 会長 L. 石井正勝 (下総中山LC)



思い出してみますと、早いものですチャーターメンバーとして入会し22年の歳月が過ぎました。今年度の会長と言う大役を受け身のしまる思いです。私の一番好きなLCクラブです。上半期下半期の事業計画年間を通じてのクラブ運営、色々と思いをめぐらす毎日です。明るく楽しいクラブ運営を新役員理事と共に考える毎日でございます。宜敷く御願いたします。

1 R 1 Z 会長 L. 鈴木正昭 (浦安LC)



20年間という節目に会長をおおせつかり身に余る光栄と存じます。浦安クラブの今日迄の歩み軌跡を思うとき先人ライオンの功績、そして多くの方々の大きな支援に支えられ発展してこられたわけです。今年度スローガン“めざそうライオンニズムの高揚”を掲げより深く内容の充實したクラブと成るべく努力する所存です。よろしくご指導をお願い申し上げます。

1 R 1 Z 会長 L. 水野 清 (行徳LC)



私が、ライオンズクラブの一員として入会して以来、早や十三年の月日が過ぎました。今期会長をお引受けする事になり、不安感で一杯であります。メンバー各位のご指導とご協力によって精一杯頑張り地域社会に寄与出来る様精進したいと考えておりますので、何卒ご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

1 R 1 Z 会長 L. 小杉恒作 (市川北LC)



松の緑が映える自然がまだまだ多く残っている市川の北。市川北ライオンズクラブが誕生して早や121年目を迎えました。本年度は友愛の精神でクラブの活性化を図り例会を楽しく実になる例会にし次回の例会が待遠しい思いになる様にしたいと計画致して居ります。和を保って青少年育成事業を中心とした奉仕活動を致して行く所存です。

1 R 1 Z 会長 L. 大須賀稔 (シーサイド浦安LC)



方針「楽しい出席。仲良くアクト」五周年行事も、同志L諸兄の多大なる御支援の賜にて、盛大に終始する事が出来ました。十周年向かって、第一歩の会長として、責任の重大さを痛感しております。方針の如く、益々楽しいクラブにするべく努力致す所存です。今後共絶大の御指導、御支援を宜しく御願致します。

1 R 2 Z 会長 L. 今井 實 (松戸LC)



この度当クラブ28代会長に就任いたしました。クラブテーマを「友愛」として、友情を深め、奉仕の原点であります愛を心として、今までの奉仕活動の良い所を継承し深めて参り度いと思ひます。又楽しい例会をモットーに努力して参ります。どうぞ皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

1 R 2 Z 会長 L. 江原敏夫 (流山LC)



流山LCは今期15周年目を迎えメンバー同気力・体力・智力とも一番充実した時期です。クラブにとって一番貴重な財産である「人材」を無駄にすることなく、奉仕活動に和の熟成に、まい進出来る環境を如何に作れるかが、私を含めた三役に与えられた課題と思ひますので、ひたすら努力と勉強の一年としてガンバルつもりです。

1 R 2 Z 会長 L. 鶴岡照郎 (松戸中央LC)



今期、会長という大任を命ぜられ、身のひきしまる思いでいっぱいです。メンバー各位の力強いご支援を頂きまして、精いっぱい努めて参り度いと存じます。今朝のクラブスローガンは「着実に広げよう、友情と奉仕の輪」とさせて頂きました。例会出席率の向上と、メンバーの優れた英智に助けられ、活力あるクラブ作りをして参り度いと思ひます。

1 R 2 Z 会長 L. 関川和則 (松戸東LC)



我がクラブが十周年を迎える年に会長を仰せつかり重責を果す為懸命に努力致す所存です。スローガンは「忠恕の奉仕」とさせていただきます。己を推して他人に及ぼす奉仕思いやりと許す心を持ち乍らメンバーの一層の絆を強くしより存在価値のある奉仕活動をして参りたいと思っております。一層の御指導をお願い致します。

1 R 2 Z 会長 L. 高橋利夫 (野田LC)



クラブ結成以来9年目の会長職を担当するにあたり、その責任の重さを痛感しています。しかし、今日迄全メンバーが一丸となり培ってきたクラブの、よりいっそうの発展を求めて、本年度は「融和と協調でウイ、サーブ」を会長スローガンとし、よりよい管理運営を主目的に、活性化を図り、ごく自然な形で奉仕事業が遂行されるよう鋭意努力致します。

1 R 2 Z 会長 L. 斉藤 均 (松戸ユウカリLC)



我がクラブは今年結成7年目を迎えることになります。特に当クラブでZCを拝命することになり大変光栄なことと同時にその責任の重大性も強く感じております。尚一層の御支援と御協力を期待申し上げております。近年は世界情勢も激変を極めており急速に社会変化が生じております。我々は時代に迎合した奉仕に努力をして参りたいと思います。

1 R 2 Z 会長 L. 富澤 昇 (関宿LC)



「こころ豊に真心奉仕」
結成五年の節目の年に会長を引き受けて、身の引き締まる思いでいっぱいです。五年目を契機によりメンバー相互の信頼と友愛を深め、例会に奉仕活動に、参加する喜びを味わえるクラブ作りに努力してまいりたいと思います。

1 R 3 Z 会長 L. 伊藤恭一 (柏LC)



今年度は柏ライオンズクラブ25周年に当り、責任の重さを感じます。「広げよう、和と友情でウィサーブ」をモットーに、ライオンズムの高揚と新たな地域への奉仕、他クラブと協力して合同アクティビティや次の時代をなう青少年に現実的に何か希望がわき、又夢のある奉仕に挑戦して、周年行事の節目の年として、全員でいい汗をかこうと思っています。

1 R 3 Z 会長 L. 佐藤明吉 (我孫子LC)



19代会長を引き受けるに当り心引き締まる思いです。クラブ会員少数ではありますが、ガバナースローガンに協力努力は元より地域に密着したACTをより一層強め人の繋がりを「心と心のふれあい」を大切に活動し、会員相互の理解と親睦を深め、会員増強を計りたい。クラブ18年が過ぎ、(初心忘れるべからず)の精神で協力、指導受け賜り微力ですが精進致します。

1 R 3 Z 会長 L. 谷口喜彦 (柏中央LC)



15周年という通過点をすぎ、メンバーも心を一層し、新たな目標をめざし、進むべく責任の重大さを痛感致しております。
「人と人の絆で広げる心の奉仕」を会長スローガンとして、伝統を守りライオンズムの向上と地域社会に奉仕を重ね、20周年にむけて会員相互の信頼と楽しいクラブ運営に努力してまいります。

1 R 3 Z 会長 L. 杉浦清美 (柏グリーンLC)



当クラブも十年もすぎ、中堅クラブに発展した今日、大役をお受けし、深く感じております。我々のめざす友愛と奉仕で地域社会の豊かな生活をと、皆で考え、皆んなで実行、社会福祉、青少年健全育成にがんばります。レオクラブも結成3年目に入りリーダーはもとより真価の出ることを希望します。皆様の御指導、御鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

1 R 3 Z 会長 L. 赤城稔也 (印西LC)



結成10周年を来年に控え、より円滑なクラブ運営をするため、会員増強、出席率の向上、楽しい例会で友情と信頼を深めて行き、又ブラザークラブをはじめ、多くのライオンズクラブと親善交流を深めると共に、継続事業を充実させて、価値ある社会奉仕を続けて行きます。

1 R 3 Z 会長 L. 木村吉五郎 (柏オークLC)



クラブアクティビティスローガン「友和の絆、広げよ奉仕」
柏オークライオンズクラブも8年目を迎える訳ですが、会長としての責務の重さを痛感している次第です。今後は従来にも増して、地域社会の人々の一層の協力を得て奉仕の輪を広げることこそ真のウィサーブだと思っております。魅力あるクラブ作りに精進してまいります。

2 R 1 Z 会長 L. 土屋富行 (船橋LC)



広義的視野に立って
会長就任に当り、いまさらながら
責務の重大さを痛感しております。
国際・複合・準地区・クラブ会則
etcを基本姿勢として、クラブ内
の再活性化を計りながら、広く国際
社会の中で広義的視野に立って、地
域社会のニーズに即応するイキイキ
奉仕活動に精進する所存でございま
す。

2 R 1 Z 会長 L. 神田泰助 (船橋中央LC)



第24代会長の大役を賜り大変身
の引締まる思いです。任命された以
上はベストを尽くして一年間楽しく
実りあるクラブ運営に全力投球で頑
張る所存です。皆様の御支援、御協
力をお願い申し上げます。

2 R 1 Z 会長 L. 相馬辰秋 (鎌ヶ谷LC)



鎌ヶ谷ライオンズクラブは、本年
は市制20周年、来期がクラブの20
周年に当たる為地域への奉仕活動を
重点に行い、メンバー全員が、心を
持って積極的にクラブ活動に、参加
出来る様にしたい。

2 R 1 Z 会長 L. 石戸武昭 (沼南LC)



「真にふれあい広がる奉仕」
地域社会との真心こめたふれあい
が町民との絆を強くしライオンズク
ラブの発展と活性化につながるの
ではないかと考え私の今年度のスロー
ガンを「真心ふれあい広がる奉仕」
としました。
当クラブも今年15周年を迎えま
したので初心にかえり奉仕活動に専
念していく覚悟です。

2 R 1 Z 会長 L. 鈴木正興 (船橋ポートLC)



全員参加でウィサーブをスローガ
ンとしてこの度当クラブの9代目の
会長を引受けることになりました。
奉仕とは始まりがあって終りのな
いものです。メンバー全員グッドス
タンドイングを目指し当クラブスロー
ガン世の中人情・家庭に愛情・友達
に友情の三情の精神をもってがんばっ
て行く所存です。

2 R 2 Z 会長 L. 安西晃男 (習志野LC)



本年度は吉田ガバナーのホストク
ラブという大変注目される年になり
ます。それだけに、よりクラブ内の
心の輪を大切に運営して行きたいと
思います。例会に於いては、国際協
会の目的にもあるように、「すべて
の問題を自由に討論できる場」を沢
山設け、アクトについては、継続ア
クトの実行及び各委員会の方針も尊
重していく所存です。

2 R 2 Z 会長 L. 小林 登 (八千代LC)



われわれの奉仕活動はライオンズ
の目的・綱領や国際会長・ガバナー
方針に基づいて単一クラブが自主的
に推進するところに原点がある。そ
の基点となるクラブの会長の責任の
大きさを痛感する。私はメンバー相
互の理解と親睦がクラブ活動のエネ
ルギーであると考え「思いやりと信
頼で広げようウィサーブ」をスロー
ガンとして一年間頑張りたい。

2 R 2 Z 会長 L. 近藤英博 (船橋東LC)



船橋ライオンズクラブのL近藤英
博です。我等が船橋東クラブは前年
度にCN20周年行事を行い、又過
日佐原での333-C地区年次大会
ではガバナー大賞という名誉あるア
ワードをいただきました。従って本
年度はCN25周年を目ざし、新た
な出発の年と考え、会員の増強とク
ラブライフの充実、実り多き奉仕活
動の推進に努力したいと思います。

2 R 2 Z 会長 L. 石井勝利 (船橋京葉LC)



今年度会長を引受けていただい
ていました畦田Lが突然病気にたおれ、
現在入院中であります。
ピンチヒッターとして会長を引受
ける事となりました。
“今一度、初心に帰り献血奉仕”
をスローガンに、畦田献血委員長が
帰ってくるまで全員で献血の火をと
もしつづけたいと思います。
畦田L ガンバレ!!

2 R 2 Z 会長 L. 高久菊男 (船橋北LC)



この度思いがけない大役を任せら
れ面くらっておりますが、L.Cの仲
間に入れて戴いたお陰で、多くの友
人を得、又社業の方も何とか食って
いけるようになりました。この大役
は、未熟な私にとっては、時期早尚
ではありますが、恩返しのためで
私なりに努力していくつもりです。
そして友情、遊び心、悠然この3つ
の「ゆう」で、クラブライフを楽し
みたいと思います。

2 R 2 Z 会長 L. 小川嘉一郎 (習志野中央LC)



年間替わりの時期となり、各種研修会に参加し、新旧交替に日一日と責任の重大さに身の引き締まる思いの毎日です。先輩の築いた伝統を継承し発展向上させるには非力であり、勉強不足で不安を抱いているが、クラブメンバーのお力を借りて、今後ライオンズマンとして、誠実に精進と最善の努力をする覚悟であります。

2 R 2 Z 会長 L. 周郷昭雄 (八千代東LC)



初代会長の代行として8ヶ月多くの人の協力を得て無事過す事が出来ました事を感謝致します。本年も推せんを戴き第2代会長を務める事になりましたが重責を痛感しております。新クラブで一番大切な事は相互理解の精神であり総てがその上で行われるのが理想であると思います。クラブの和を計り基盤造りに努力致します。宜しく御協力の程を。

3 R 1 Z 会長 L. 高岡恒雄 (成田LC)



会長就任にあたり

- 1 会員相互の親睦を重視し、会員全員が自分のクラブをリードする自覚を持って邁進出来るクラブとする。
- 2 国際都市、成田ライオンズクラブの来る21世紀に於けるウィサーブの方向付けをする。

3 R 1 Z 会長 L. 丸島富夫 (佐倉LC)



親睦と愛の奉仕を掲げる 楽しい例会に心がけ ライオニズムの研鑽に努め 各委員会の活性化を目指す
1991 10 27 25周年
記念式典及び事業をクラブメンバー全員の能動的参加に依り成功させたい 又周年行事を期に新会員を迎える様努力したい。

3 R 1 Z 会長 L. 中澤寛義 (四街道LC)



来年25周年を迎えるにあたって、若いライオンも入会し活躍しているので全会員がライオンズマンであることを誇りとしなお一層の友情の絆を強くし地区アクティビティスローガンである「友情の絆で広げるまごころ奉仕」を実践したい。又、地域社会から浮揚した組織では市民の理解を得られないのでことあるごとにPRし市民との密度を深めていく活動を展開したい。

3 R 1 Z 会長 L. 宮本荘一 (酒々井LC)



酒々井ライオンズクラブは1987年7月スポンサークラブ成田ライオンズの温かいご支援ご指導のもとに誕生し早や五周年を迎えようとしております。会員一同友情に結ばれ手を取り合ってメンバーの増強と5周年チャーターナイトにむけて精進しております。又新年度には酒々井町役場に国旗ポールを寄贈予定です。

3 R 1 Z 会長 L. 岩立忠雄 (成田グリーンLC)



成田グリーンLCは結成3周年を迎え組織の充実を計り地域型のクラブと成長して参りました。今年度は前会長をはじめメンバー各位の御指導御協力のもとに本年のACTスローガン「友情の絆が広げるまごころ奉仕」基に魅力ある例会、ブラザークラブの交流、地域奉仕活動への積極的な参加を図りクラブ運営に邁進して行く所存であります。

3 R 1 Z 会長 L. 戸村恵一 (成田平成LC)



皆様、こんにちわ。

私達の成田平成LCは、誕生して間もない若いクラブです。私は会員同志の堅い友情の結束を図り、本年度のスローガンであります。「友情の絆で広げる真心奉仕」を忠実に推進して参ります。又私共の成田市は、世界中への交流拠点であるとの利点を活し、国際親善を実行する努力を致します。今後一層の御指導を御願い申し上げます。

3 R 1 Z 会長 L. 秋葉藤一 (八街LC)



今回八街ライオンズクラブ第2代会長に就任する事になりました。ライオンズのモットー、スローガンに従い、ライオンズの誓いを忠実に実行し、世界一のライオンズクラブを造りたいと願っています。この夢を実現する為に諸先輩、会員皆様方の尚一層の協力援助を希望してやみません。以上を就任の抱負と願望と致します。

3 R 1 Z 会長 L. 浅井 誠 (八街グリーンLC)



「愛の奉仕を積み重ね、郷土に広げる緑と友情」をテーマに邁進します。

すばらしいチームワークとパワフルな実践力を誇る成田グリーンLCをスポンサーに昨年誕生した私達のLCを、力強く発展させるために、一人ひとりの持てる力が、遺憾無く発揮できる環境づくりにがんばります。

3 R 2 Z 会長 L. 霜礼次郎 (千葉LC)



1年の抱負
千葉LCは間もなく30周年を迎えようとしています。チャーターメンバーも少なくなり、初期の気持ちを体験する意味でも若い会員を中心としてエクステンション、会員増強、楽しい例会運営等の企画を行い、感動あふれる1年にしたいと思っております。若輩会長ですのでよろしく御指導、御協力をお願いいたします。

3 R 2 Z 会長 L. 小川 弘 (千葉中央LC)



皆様には益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。この度千葉中央LCの今年度の会長に指名頂きました。なんの取り柄もない私ですが一年間よろしくお引廻し頂ければ幸に存じます。キャビネットに協力しつつ周囲の皆さんと手を取り合って奉仕に又親睦に力を注ぎたい所存でございますので、よろしくご指導とご鞭撻のほどをお願い申し上げます。

3 R 2 Z 会長 L. 若王子徳次朗 (千葉若潮LC)



ライオンズクラブに入会し早11年。未熟者が会長という大役をお引き受けすることになりました。ライオンズクラブの原点は……自由を守り、知性を重んじ、国の安全をはかるとされています。そのために我々に何が出来るか、又何をなすべきか……その答えは「ウィサープ」、そのためにも新らしいアクト(労力アクト)の誕生を共に考え実践できる年にしたいと考えています。

3 R 2 Z 会長 L. 佐野 勇 (千葉ポートLC)



会長の指名を受け改めてその責任の重大さに身の引きしまる思いで一杯です。

C間の友和を取り親睦を深めて楽しい例会をつくり継続アクトの成功をめざして、全力をつくしたいと思います。

3 R 3 Z 会長 L. 高橋一浩 (市原LC)



「ひろい心で、奉仕と友愛」
伝統ある市原LCの会長という大役を不肖を顧みずお引受けし、身の引き締まる思いであります。

クラブでの自分の立場、役割を正しく認識し、全力を尽くしたいと考えております。メンバー各位には寛容の精神をもって、ご協力とご指導をよろしくお願い申し上げます。

3 R 3 Z 会長 L. 三川重夫 (千葉エコーLC)



本年度27代目の会長を務める事になり、重責にプレッシャーを感じてます。前年度CN創立25周年記念行事を成功裡に終了し、今期は初心にかえて、26年間の実績を基に、より地域社会に密着した心の通った奉仕活動に精心します。

クラブ内では協力とより良い友愛の輪を広げ、楽しい例会運営が出来るよう努力してまいります。

3 R 3 Z 会長 L. 御園生孝 (市原南LC)



市原南ライオンズクラブは昨年度チャーターナイト25周年記念事業を無事終了し、本年度はこの大節を契機として、更にライオニズムの昂揚に努め精進して参りたいと存じます。即ち地区アクティビティスローガンの「友情の絆で広げるまごころ奉仕」を旨として、健全な青少年の育成と社会奉仕活動を積極的に展開推進して参る覚悟でございます。

3 R 3 Z 会長 L. 渡辺佐光 (千葉京葉LC)



本年のACTスローガン「友情の絆で広げるまごころ奉仕」を基に人間関係の輪を広げ、姉妹クラブなど更に多くの人々との交友をはかってまいります。委員会の積極的な活動を推進しながら会員の和を大切に明るい楽しいクラブ、出席しやすい雰囲気、常に持つ様最大の努力をかたむけて参りたい。ライオンズ精神に添い先ばいの教えを頂き永遠の奉仕につなげる。

4 R 1 Z 会長 L. 酒谷昌男 (銚子LC)



28年目を迎え、クラブはそろそろ老化現象が出始めるとき、私はこの一年「経歴計新」クラブの輝かしい歴史を受け継いでその上で新しい事に当る。従って、歴史の中で良いものは残し、過去の考え方これまでのやり方にとらわれることなく、事を行っていきたく思っております。

4 R 1 Z 会長 L. 平山真佐雄 (佐原LC)



メンバー100名を越え、長い歴史と伝統を持つクラブの会長をお引受けする事になりました。私ごときが勤まりますかどうか、小々不安ですが精一杯努力致します。運営やアクティビティには、激しく変わる時代環境の中で、社会奉仕の在り方を、会員全体でもう一度改めて見直し、実行して行きたいと思っておりますのでどうぞ宜敷くご指導下さい。

4 R 1 Z 会長 L. 永井總一郎 (東庄LC)



本年度会長に就任致しました、L 永井總一郎です。名誉と伝統のある東庄LC会長に任命された事は、誠に光栄であります、と同時にその重責に、身の引締まる思いです。ガバナリー方針の「友情の絆で拡げるまごころ奉仕」を基本理念として、頑張る所存です。よろしく御指導御鞭撻をお願い申し上げます。

4 R 1 Z 会長 L. 木内貫治 (神崎LC)



昨秋、実施したCN 20周年を基点に今一度ライオニズムの原点に帰り、地域社会に実りのある奉仕を捧げる。基本方針としては、会員相互に親睦の輪を拡げ、継続アクトの充実・共同アクトの試みを検討する。例会のマンネリズム化を防止するため、種々のアイディアを組みこむなど活性化を図ることにより、会員増強・退会防止の効果を期待したい。

4 R 1 Z 会長 L. 三谷公平 (大栄LC)



わがクラブも本年度はいよいよ成人式。地域活動にも欠かせない存在まで成長しました。歴代3役のご活躍と、ブラザークラブの友愛に支えられて慈に20年。新装成ったコミュニティプラザを会場に桜咲く来春20周年記念式典開催を決定。

これが成功を期し、会員協力の大きな輪の中で、相互の和が大きく育つよう頑張るつもりです。

4 R 1 Z 会長 L. 堀越幸恵 (栗源LC)



私の抱負

- (1) 奉仕の内容を時代の変化に即応し、みなおしていく、①物の奉仕から思いやりのある心の奉仕へ。②福祉行政上恵まれない人々に目を向けて奉仕していきたい。
- (2) クラブ活動や例会の運営を魅力ある内容に工夫し活動を推進する。
- (3) ライオンズクラブの目的を生かし、会員と共に努力していきたい。

4 R 1 Z 会長 L. 深澤昭豊 (銚子中央LC)



いよいよ私共執行部の出番だと思うと、まことに緊張しているところです。クラブの結成、認証式などまだ昨日のような気がしますが、これからは一つ一つの現実の課題にまじめに取り組まねばなりません。どうかライオニズムの昂揚にメンバー各位のご協力を切にお願い致します。

「ひろげよう、広く明るい心の輪」今年度はこれでいきましょう。

LC 会長

4 R 2 Z 会長 L. 網野幸和 (八日市場LC)



ライオンズ会長を仰せ付かり、大役を果せるか、非常に不安に感じている所です。各界の沢山の方々の集まりで有り、又色々の考えの持つ人がいると思います。ともあれ融和と社会奉仕の精神に乘っ取り一生懸命務め、ものごとこにこだわらず建前でなく本音で会を進めていきたいと思ひます。ライオンズが益々大きな和になるよう一名でも二名でも増員しましょう。

4 R 2 Z 会長 L. 宮川 昂 (旭LC)



昨年度は旭ライオンズクラブのひとつの節目としての結成25周年記念式典も終り、今年度は歴代の輝かしい伝統のあるクラブ運営を維持しつつ、次の時代へむけてライオンズクラブの原点を再認識し、会員相互の連帯をふかめ、さらに発展すべく努力をし、地域社会に存在感のあるクラブとなるよう行動していきたいと考えております。

4 R 2 Z 会長 L. 吉岡憲一 (総武中央LC)



今年度は次期25周年に向けての土台造りの年であると思ひます。

メンバー個々が自らの役割と責任を明確にして、奉仕活動に情熱をかけて取り組む事が、我がクラブの奉仕活動の、三柱がより一層輝きを増すものと確信し、活力と魅力のあるクラブそして心と心のふれ合う楽しいクラブの運営に心掛け一年間頑張りたいと思ひます。

4 R 2 Z 会長 L. 高橋福義 (飯岡LC)



自クラブはもとより近隣クラブとの交流を深め、なお一層の親睦をはかり、一人一人の出合いを大切にしてい、地域全体の、クラブ活動を、楽しいものに、していきたいと思ひます。

4 R 2 Z 会長 L. 加藤正晴 (多古LC)



本年のACTスローガン「友情の絆で拡げる まごころ奉仕」の基に私が会長という大役を引受け責任の重さを痛感しております。3年前の幹事経験を生かして当クラブメンバー近隣ブラザークラブとの友情を深め、内に於いては各委員会活動を委員長の基に活発にして、全員参加の奉仕とクラブの活性化に、頑張りたいと思ひます。

4 R 2 Z 会長 L. 金杉 清 (干潟LC)



本年の地区アクティビティスローガン「友情の絆で広げるまごころ奉仕」を理解し忠実に実行できる努力をしたいと思います。1989年度に4RRCのクラブとして、本年度は2ZZCのホストクラブとして名実ともに恥かしくないクラブ活動を会員と一体となって努力するつもりです。友愛と寛容の精神をもとに地区社会の本年、会員として誇れるクラブ、会員であってよかったと思われるクラブを目指したいと思います。

4 R 2 Z 会長 L. 越川 忍 (山田町LC)



若緑が一段と青さを増す頃となりました。器にない小生が栄えある会長に就任する事に不安と戸惑いを感じております。ライオンと呼ぶる人となる為に掛けライオニズムの旗の元に全力投球する覚悟であります。

素晴らしい新役員各位とザン新な奉仕への道を求め度今から語り合っております。諸先輩の御指導を中心よりお願い申し上げます。

4 R 2 Z 会長 L. 藤城吉董 (光LC)



- 次の方針で会運営に当たります。
- ①クラブ結成して5年が終了。クラブACTのあり方を見直していきたい。特に労力ACTが少なかった点を反省し、一人当たりの時間を増やしたい。
 - ②新入会員の増強も今年度の課題としたい。
 - ③委員会活動の活発化を果たして行きたい。

5 R 1 Z 会長 L. 鳥海鴻一 (木更津LC)



- ①マンネリズムになりつつあるメンバー各位に原点に帰りもう一度ライオンとはなにかと率直に見直し優秀なる、木更津LCクラブの向上に努めたいと思います。
- ②微笑にて各Lに接し積極的な対話があれば会の運営も向上し、出席率の向上にもつながり又新入会員の増強にもなると思いますので。
- ③以上2点について一年間協力してみたいと考えています。

5 R 1 Z 会長 L. 田中英夫 (木更津中央LC)



我がクラブもCN25周年、老化しないよう原点を想起こし益々頑張りたいと思います。

メンバー各位の親睦は勿論の事各委員会の活躍を期待します。

以上

5 R 1 Z 会長 L. 在原満男 (袖ヶ浦LC)



地区の皆様一年間宜しくお願い致します。クラブ幹事、又幹事等を経験しながら、Lの何たるかがわかりかけてきた所ですが私にとって人生の最大目標である奉仕に向かって自身を磨く良い機会を得たと喜んでおります。継続ACTに加え、25周年を迎え行事が山積みですが楽しいクラブ作りの一貫としてとらえ、クラブ員全員でガバナー方針に基づき運営していきたい。

5 R 1 Z 会長 L. 宮内 栄 (木更津金鈴LC)



会長に指名していただき身の縮まる思いです。本年度のクラブ運営に当りましては、まず会員の和と実行です。年間計画表を一つ一つ完全遂行と他クラブとの交流及び地域社会の奉仕活動に全員参加出来るよう努めたい。又本年度は会員増強に全メンバーの協力を強くお願いします。例会日は全員の出席で楽しい例会に努めたいと思う。

5 R 2 Z 会長 L. 鹿島清太郎 (富津LC)



地球上での最大の問題は、環境問題とこどもの問題だという。あそびの体験が少ない事に驚く。あそびは目的ではなく創造力の開発をもたらし、青少年の健全な成長を促す。人づくりの責任者としての自覚を持ち、ライオンズの掲げる理念 (We Serve) に基づき、他人への奉仕。育てる奉仕へ、地域社会における信頼と支持を活力に、最善を尽くしたい。

5 R 2 Z 会長 L. 一木善次 (上総LC)



ガバナー方針にのっとり、クラブ運営を楽しく、友情を深める中で地域社会に奉仕していくことをモットーにして、一年をつとめたいと思います。よろしく願いいたします。

5 R 2 Z 会長 L. 松田芳巳 (君津LC)



輝かしい功績を重ねて来られた歴代会長の後を継ぎ、会長の命に重責を痛感しております。君津LCの未来を見つめ、先輩Lの足跡をふまえさらに新しい風を送り込みたいと考えます。メンバーの親睦を深め、意義ある楽しい例会、充実したアクティビティ等々…L鈴木章幹事、L濱名敏功会計と張り切っております。メンバー各位のご協力よろしくお願い致します。

5 R 2 Z 会長 L. 栗原三郎 (君津中央LC)



去る4月14日のCN 20周年記念式典にはガバナー初め、ブラザークラブのメンバー多数のご出席を賜り、盛会裡に終了できましたことを感謝いたしております。この節目を契機に原点に返り、第一歩を踏み出し、本年度はガバナースローガンに添いリジョンチェアマンの指導の下で、会員増強に力を尽し、継続アクトに努力して参りたいと思います。

6 R 1 Z 会長 L. 廣井武雄 (館山LC)



30周年を次年度に控えマンネリ化した心を強く引きしめ誠意ある社会奉仕活動に貢献したいと思います。それにはクラブ員各位の協調と和をはかり地域社会との連携を深め住み良い街造りに努し例会奉仕に進んで出席出来る明るく楽しい意義あるクラブを目指し努力したい。

6 R 1 Z 会長 L. 鈴木義康 (鋸南LC)



湾岸戦争も地球の環境破壊という結果に終わり今や世界中が国益よりも地球優先の時代へと移っている中、我が鋸南LCも「会員の和」をモットーに誠意と情熱を持って喜ばれる奉仕活動を行い、ファミリーで参加出来る家族会やアイディアを出し合い充実した例会運営を心がけ、又本年25周年を迎えるにあたり一人でも多くの会員増強をと考え努力していきたいと思ひます。

6 R 1 Z 会長 L. 武田 明 (館山中央LC)



人があって車があってそれと上手に付き合いながら、いつまでも美しい元気な地球を守りたい。戦争が生んだ環境破壊、今こそ地球環境保全に努力しなければならないと思ひます。平和な日本にとっても、クラブ会員と住民の皆様一致協力して、環境保全に取り組んで参りますので、今後共よろしく御指導ご協力お願い申し上げます。

6 R 1 Z 会長 L. 松本 巖 (館山北LC)



抱負
再生7年目の会長に選任され、その責任の重さを痛感して居ます。10名で再出発して現在29名、歴代会長の念願である40名体制に少しでも近づける様、各員の協力を得て鋭意努力する所存です。又各クラブ員が例会に出席するのが楽しみだと思ふ様な例会を心掛けて出席率の向上を図りたいと思ひます。

6 R 1 Z 会長 L. 福原久泰 (館山南LC)



「おかげさまで20年」私共、館山南ライオンズクラブは、皆様の温かいご指導とご友情にささえられ、本年11月24日に20周年記念式典を開催することになりました。ブラザークラブ皆様にはご多忙のこととは存じますが、初冬の房州路にお越し下さいまして、私共20年の歩みをご高覧の上ご激励いただきたく会員一同心よりお待ち申し上げております。

6 R 2 Z 会長 L. 鈴木利和 (鴨川LC)



昨年25周年記念式典をあげさせて頂き本年は心を新たに身のひきしまる思ひです。当クラブにとって今何が一番課題なのか、例会出席率の向上と会員相互の和だと思ひます。それにはより以上の友愛と寛容の精神を養い、心を豊かに、ウイサーブの原点にもどり、和をもってクラブの運営に計りたいと思ひております。

6 R 2 Z 会長 L. 林 泰治 (房州白浜LC)



結成25周年を迎える記念すべき年に就任することの責任の重大さを痛感いたします。ガバナー方針に従い歴代の輝かしい実績を更に積重ねライオンズのモットーである奉仕の精神を十二分に発揮し会員相互の融和のもと、社会奉仕活動に精一杯努力すると共に25周年記念行事が成功裡に達成出来る様、先輩Lの御指導、御援助を切にお願い致します。

6 R 2 Z 会長 L. 早川金光 (房州朝夷LC)



この度、房州朝夷LCの会長に就任いたしました、早川でございます。弱冠38才という若さですが、先輩Lのご指導の元、下記項目に重点を置きこの一年頑張るつもりでございます。
① 若手会員の増強による平均年齢の低下。
② 例会内容を充実し、地域住民との更なる密着を図る。

6 R 2 Z 会長 L. 土屋淳一 (房総勝浦LC)



70数名に達した当房総勝浦L、Cの屋台骨を背負って、弱輩の私が、この重責を一年間乗り切れるか心配ではありますが、受けさせてもらったからには、その任務を三役共々会員の皆様の御力添えを仰ぎながら全とうしたいと決意を新たにしております。333-C地区各役員様に御迷惑をかけるやも知れませんが宜しく御願ひ申し上げます。

7 R 1 Z 会長 L. 伊藤 聡 (茂原LC)



「LCの原点」幾度繰返し模索されたテーマであろうか？新しい国際情報化社会の中、如何に対応すべきか、物質文明が優先する「豊かな」社会の中地域に應える奉仕とは？私達Lが新しい認識をもってビジョンを確立すべき時であります。全員がひとつでも成果を上げ互いに讃え合い任期を全とうしたいものと願い就任の抱負と致します。

7 R 1 Z 会長 L. 川嶋美董 (長柄LC)



私は茂原長生ライオンズに1人で7年間在籍して居りました。その折阿曾正衛、鎌田雅郎両ライオンズの勧めに依り、今から5年前に長柄町ライオンズクラブを結成し、今回5代目会長に就任する事となりました。ウィサーブの精神と会員増強をモットーにクラブ運営に精進して参ります。関係各位の一層の御指導と御鞭撻を伏してお願い申し上げます。

7 R 1 Z 会長 L. 高原滋之 (上総一宮LC)



- 1 会員増強
- 2 健全財政
- 3 例会出席率向上
- 4 会員健康保全

以上4項目について鋭意努力します。

7 R 2 Z 会長 L. 平賀 昇 (東金LC)



東金LCも設立以来既に25周年を迎え本年4月ブラザークラブの多勢の御参加を戴き無事式典を終了する事が出来ましたがこれも会員の団結なくして出来得なく年間を通してのアクティビティも会員の団結と融和こそが基本であり会長としてこれに重点をおき、これからは情報を早くキャッチし地域のニーズにこたえるように対応したいと考えます。

7 R 1 Z 会長 L. 白井早苗 (茂原長生LC)



一年間の御指導、御協力を、お願い致します。

7 R 2 Z 会長 L. 大塚 清 (大網白里LC)



大網白里LC十四年目の会長を務めることに成りましたが非力ではありますが精一杯務めてまいりたいと思います。当クラブは十五周年を目前に控え、さらに会員相互の友情を大切に団結を計り、大きい事は出来なくとも地域社会に融け込んだ実りのあるアクティビティを進めていき当クラブの発展をめざしていききたいと思います。

7 R 1 Z 会長 L. 鶴岡重忠 (白子LC)



- ガバナー方針スローガンに沿って
1. 自然環境委員会の設立
 2. 桜の苗木の植樹
 3. 青少年育成の充実
 4. 会員増強 (3名以上)
 5. 会員相互の交流と親睦を深める
- 以上5つの柱を基本に、継続事業への、積極的参加により、各ACTの完遂を図る。

7 R 2 Z 会長 L. 阿部倉隆 (九十九里LC)



本年度会長スローガンとして「灯そう谷間に愛の灯を」ときめ福祉を重点目標と定めているいろいろな角度から実行して行きたいと思っております。そのため過去七年間毎年営業上自家製品をクラブを通してZ内六施設に贈ってきましたので本年は三役共々訪問し慰問いたす覚悟でおります。

7 R 1 Z 会長 L. 古市 久 (長南LC)



本年は、十周年に当たる、重要な節目の年である。
「友情の絆で広げる、まごころ奉仕」のスローガンを、全会員が心において、会員一人一人が互いに尊重し合う、和の心を大切に行きたい。
この心の上に、これまで培った、地域の実態に即した、奉仕活動を、より充実・発展させて行くよう、努力したいと考える。

7 R 2 Z 会長 L. 真行寺昭 (成東LC)



クラブ内の統一と退会者の防止を計りながら、主催している少年スポーツ大会(剣道、サッカー)老人ゲートボール大会等、継続事業の発展と、新企画のアクティビティーを推進して行きたい。又有能な人材の発掘と新加入者の増加に努める所存です。

1 R 2 Z 会長 LS横須賀綾子 (流山LSC)



私事です。先日義母が急逝しました。毎日の生活の中で愛ある心を義母から教わりました。不満を言わず、いつも周囲を明るくする人柄に、亡くしてその偉大さを知りました。人の心を気づかい相手の喜ぶことを喜ぶ心。友の良い面を見、又取り入れてより良い自分になれる様努力することが奉仕団体としてのLSCを向上させる基となるものを信じます。

4 R 1 Z 会長 LS関八重子 (佐原LSC)



6月5日に結成式を終えたばかりです。会員25名、皆さん澁刺としております。今年は、女性として何ができるか皆で考えながら、あせらず、じっくりと基礎作りに、力をそそぎたいと思います。そして、スポンサークラブのご指導を頂きながら少しでも地域社会に役立てるクラブに、育って行けるよう努力して行きたいと考えております。

1 R 3 Z 会長 LS高橋初栄 (柏LSC)



柏LSCは結成2年目を迎えます。LSCの目的はライオニズムの輪を広げ女性特有の感受性豊かな奉仕活動を充実させ環境問題をも発展させてゆくことです。「育てよう愛の奉仕と緑の大地」というテーマを掲げ一人一人が環境にやさしい生活を展開していけば地球環境の改善に向かっていくことでしょう。会員27名和気あいあい親睦を計り奉仕の輪をひろげて次のステップに積極的な活動を推進していきたいと思っています。

5 R 1 Z 会長 LS木場美知子 (袖ヶ浦LSC)



本年度4月袖ヶ浦市が誕生しその年に12代会長に専任され責務の重大さを痛感致します。大きな活動は出来ないけれど女性の特質を生かしたきめ細かな奉仕の積み重ねが大切だと思います。メンバーの和を広げマンネリ化を防ぎクラブの活性化に努めよりよいクラブ運営に努力したいと思っています。細くても息の長いクラブでありたいと願います。

2 R 1 Z 会長 LS伊藤初子 (船橋中央LSC)



私達ライオネスクラブは、来年で15年になります。

県下、初のLSCと云う事で多少の自負はありましたが、年月が経つにつれ。運営の難しさを痛感している今日此の頃です。

歴代の会長さんの苦勞に敬意と感謝の気持ちで一杯です。こうして守ってきたライオネスの灯、これからも大切にしていきたいと思っています。

5 R 1 Z 会長 LS宮内邦子 (木更津金鈴LSC)



今年、一年間は私達ネスクラブは親クラブの継続アクトの協力を柱にして会員の親睦と会員増強を計り、活力のある例会運営を心掛けて行きたいと存じます。又地域内ネスクラブとの交流を深め、人と人との出会いを大切に心のかよう奉仕活動の輪が広がる様に努力して行きたいと思しますのでキャビネットの皆様の御指導とメンバーの御協力を御願ひ致します。

3 R 3 Z 会長 LS林 淑子 (市原南LSC)



市原南ライオネスクラブ会長の林でございます。このたびガバナー方針に基づき、チームワークとコミュニケーションを図り、精一ぱいがんばって行くつもりです。又新会員募集と女性でなくてはできないボランティア活動に燃え、必ずやその成果をあげる事に努力して行きたいと思っております。どうぞ微力な会長ですが、よろしく御協力のほどをお願い致します。

5 R 2 Z 会長 LS北見幸子 (富津LSC)



富津ライオネスクラブも親クラブの全面的な御協力に甘えながら、6年目を迎える事が出来ました。はからずも今期の会長を指名されまして、戸惑いと同時に責任の重大さを痛感致して居ります。微力な私ですが、1年間会員の皆様の御協力を頂きながら、地域社会の奉仕活動を中心に頑張っていきたいと思っておりますので、宜敷くお願い致します。

3 R 3 Z 会長 LS石川もり子 (千葉京葉LSC)



諸先輩が培い築かれた伝統のもと親クラブをはじめ市内各クラブの暖かいご指導のお陰をもちましてつがなく奉仕活動をつづけて参りました。これからはライオニズムの原点をつねに念頭に置いて、会員間の意志の疎通をはかるように努め、力を合わせて一歩一歩着実に進みたいと存じます。今年の重点目標の一つに会員増強を加えることにしました。

5 R 2 Z 会長 LS白石美枝 (君津LSC)



君津ライオネスクラブも十四年目を迎えました。親クラブの暖かいご支援と会員皆様の友情に支えられて微力ではございますがクラブ運営に努力して参りたいと存じます。七月よりすばらしい二名の入会も決まり大変喜んでおります。本年度は継続事業を柱にメンバーの和を大切にクラブ活性化の為に会員増強と退会防止に努めて参りたいと思っております。

5 R 2 Z 会長 LS池田和栄 (君津中央LSC)



“夏のよの ふすかとすれば
ほとゝぎす なくひとゑに
あくるしのゝめ”
ネスクラブメンバーとして多くの
人々との出逢い、そして心のふれあ
いによって自分自身の成長の糧とし
て行きたいと思います。
まず3役が仲良く いつも笑顔で
をモットーとして。
1年間よろしくお願い致します。

LS
C
会
長

6 R 1 Z 会長 LS川合久恵 (館山LSC)



歴代会長の築いたしっかりとした
土台と、素晴らしいメンバーのみな
さんのご協力でクラブ運営はスム
ーズに行われていますが、意のままに
ならないのが会員増強です。親クラ
ブのご指導をいただきウィ・サーブ
の輪を少しでも大きく広げたいと思
っています。これからも女性の特色を
生かした奉仕活動を心がけてまいり
たいと思っています。

6 R 2 Z LS武藤英子 (鴨川LSC)



鴨川ライオネスクラブも親クラブ
の暖かい御支援のもとに早や五年目
を迎えました。はからずも会長に指
名され身の引き締まる思いです。先
輩の築いた土台をくずさない様に友
情を大切に地元に着した奉仕に意
を注ぎ共に手を取り合って一歩一歩
むりをせず努力したいと思ってい
ますので皆様方のお力添えをお願い
いたします。

1 R 3 Z 会長 LEO横田江美 (柏グリーンLEO・C)



柏グリーンレオクラブの2代目の
会長になることになりましたが、こ
の1年余り副会長の経験をしてきた
ことと、昨年親クラブの柏グリーン
ライオンズクラブからYE生として
アメリカへ派遣させていただいた体
験を生かして、大学受験の時間的制
約を乗り越えて行きたいと思いま
す。文字通りLEO(機会、経験、指
導力)の1年間でありますように。

LEO
・
C
会
長

6 R 1 Z 会長 LEO川上雅之 (館山LEO・C)



館山レオクラブも満四年が過ぎ私
もレオ五年生となりました。
レオも学校のクラブ活動等の関係
がありまして仲々レオ活動におも
う様に参加出来ませんがどんな小
さな奉仕でもいいからレオ達が力
を合せて活動して行きたいと思
います。

5 R 2 Z 会長 LEO松下真也 (富津LEO・C)



皆さん、初めまして、今年度の富
津レオクラブの会長に、させて頂
き大へん責任を感じております。ぼ
くの目標は、とりあえず例会、そ
して奉仕活動に、全員参加する事
を、第一と思っております。宜し
くお願い致します。

5 R 2 Z 会長 正木龍士 (君津LEO・C)



今回会長に選ばれたことを大変光
栄に思います。現在のレオクラブ
の構成年令が低いということでは
なかなか自主的な活動ができない
欠点がありますが、皆が喜んで
参加できるクラブ作りを心がけ
この1年ががんばっていかうと思
います。そしてその為には親クラ
ブの御協力なしではできません。
どうぞよろしくお願い致します。

地区行事予定表

1991・7～1991・12

月	日	曜	事 項	備 考
7	7	日	YE派遣生壮行会・オリエンテーション	習志野サンベデック
	7	日	第1回YE委員会	〃
	14	日	第2回佐原CABと内局との引継会	習志野市
	27	土	第1回RC会議・第1回名誉顧問会議	習志野サンベデック
	28	日	第1回CAB会議	〃
8	4	日	サマーキャンプ開会式	君津ホテル千成
	4	日	第2回YE委員会	〃
	5	月	サマーキャンプ	富津岬
	6	火	サマーキャンプ閉会式	
	8	木	第1回複合地区ガバナー協議会	上野精養軒
	25	日	全世界青年会議（8月25日～9月1日）	滋賀県琵琶湖教育センター
	31	土	バンカー国際会長公式訪問	品川パシフィックホテル
10	27	土	佐倉LC 25周年 3R1Z公式訪問	成田ビューホテル
11	27	木	東洋東南アジアフォーラム （11月7日～11月10日）	神戸市
11	15	金	第2回複合地区ガバナー協議会	
	23	土	第2回CAB会議	
	24	日	館山南LC 20周年	
	28	木	木更津中央LC 25周年	
12	8	日	長南LC 10周年	

ガバナー公式訪問日程表（予定）

1991～92年度

月	日	曜	R	Z	クラブ数	ク ラ ブ 名
9	7	土	4	1	7	銚子・佐原・東庄・神崎・大栄・栗源・銚子中央
	8	日		2	8	八日市場・旭・総武中央・飯岡・多古・千潟・山田町・光
	14	土	1	1	7	市川・市川東・下総中山・浦安・行徳・市川北・浦安シーサイド
	15	日		2	7	松戸・流山・松戸中央・松戸東・野田・松戸ユウカリ・関宿
	16	月		3	6	柏・我孫子・柏中央・柏グリーン・印西・柏オーク
	21	土	3	2	4	千葉・千葉中央・千葉若潮・千葉ポート
	22	日		3	4	市原・千葉エコー・市原南・千葉京葉
	28	土	5	1	4	木更津・木更津中央・袖ヶ浦・木更津金鈴
	29	日		2	4	富津・上総・君津・君津中央
10	5	土	6	1	5	館山・鋸南・館山中央・館山北・館山南
	6	日		2	4	鴨川・房州白浜・房州朝夷・房総勝浦
10	12	土	7	1	6	茂原・上総一宮・茂原長生・白子・長南・長柄
	13	日		2	4	東金・大網白里・九十九里・成東
	27	日	3	1	8	成田・佐倉・四街道・酒々井・成田グリーン・成田平成・八街・八街グリーン
11	2	土	2	1	5	船橋・船橋中央・鎌ヶ谷・沼南・船橋ポート
	4	月		2	7	習志野・八千代・船橋東・船橋京葉・船橋北・習志野中央・八千代東

Y E 年間スケジュール

1991・7～1991・12

月	日	記 事
7	7	1991年度夏期Y E派遣生壮行会
	7	第1回Y E委員会・OB会
	28	第1回キャビネット会議
8	4	1991年度夏期受入生サマーキャンプ開会式
	4	第2回Y E委員会
	5	サマーキャンプ
	6	サマーキャンプ 閉会式
		各地区ガバナー諮問委員会
9	15	受入生ホスト家庭報告会 午後
	15	派遣生帰国報告会 午前
	8	第3回Y E委員会
		1991-92年度冬期派遣生募集開始
		冬期来日生ホスト家庭募集開始
		冬期派遣生選考と受入生ホスト家庭選考
		第4回Y E委員会
10		1992年度夏期派遣生募集開始
10		冬期Y E派遣生第1回オリエンテーション
		第5回Y E委員会
10	23	第2回キャビネット会議
11		1992年度夏期Y E派遣生選考会
11		第6回Y E委員会
11		冬期Y E派遣生 第2回オリエンテーション
11		各地区ガバナー諮問委員会
11		1991年度-92年度冬期Y E受入生ホスト家庭説明会
12		冬期Y E受入生来日
12		冬期派遣生出発

3 3 3 複合地区ガバナー協議会役員

1991～1992年度

ガバナー協議会構成員

議 長	檜山 道	(B地区ガバナー)
副 議 長	吉田 政勝	(C地区ガバナー)
幹事・会計	吉濱 和夫	(A地区ガバナー)
前 議 長	菅澤 亨	(前B地区ガバナー)

ガバナー協議会委員 (C地区関係者)

◎印 委員長

会 則 ・ 会 員 委 員 会	榎 智光	
L C I F 委 員 会	橋口 一夫	
Y E 委 員 会	望月 武峰	木下 務
レオ・ライオネス委員会	平井 勇	
視力ファースト・献血・献腎推進委員会	◎秋場 寛	
長期計画・指導力育成委員会	小西 宗仁	
国 際 大 会 委 会	矢田 常吉	
緊急援助資金委員会	吉田 政勝	
薬物乱用防止・糖尿病委員会	長島 彪	
環 境 保 全 委 員 会	◎寺嶋 周三	
ガバナー協議会事務局管理委員会	渡辺 惇	北村 泰彦
監 査 委 員 会	杉浦 明	
国際理事立候補推薦委員会	斎藤 貞雄	
複合地区名誉顧問会	藤田 定男	
日本ライオンズ連絡事務所管理委員会	小泉 明	

PR情報委員

皆様の投稿をお待ちしております。PR情報委員、地区ニュース編集委員までご連絡下さい。



1R 鈴木 稔
(柏中央LC)



2R 桜井留治
(船橋京葉LC)



3R 鹿野国秀
(千葉ポートLC)



4R 勝股 清
(八日市場LC)



鈴木 栄
(習志野LC)

地区ニュース編集委員



5R 中野孝雄
(君津中央LC)



6R 川合敏男
(館山LC)



7R 篠崎 修
(成東LC)



山内豊彦
(船橋北LC)



吉川昌三
(習志野LC)

事務局員紹介

333-C地区の事務局員さんを紹介します。里田武子さんと内藤敬子さんのお二人です。いずれもキャビネット事務に精通した優秀で頼りがいのある方々です。

特に里田さんは、333-C地区が単県独立した10年前から事務局を担当してくれているベテランであり、私たちの地区の大きな戦力です。単県独立のメリットの一つは、固定事務局を設置できるということでした。私たちのこの目的は、今日立派に達成されていると言えます。その功績は事務局のお二人の献身的で若々しい仕事ぶりに負っているのです。

しかし事務量は年々増加し、事務局も手狭になってきました。方策を考える時期に来ているようにも思います。



里田武子さん



内藤敬子さん

編集後記



地区ニュース「紫陽」第1号をお届けします。本年度の地区ニュースの編集方針としては、なるべく早く発行するという前提で取り組みました。吉田ガバナー及びバンカー国際会長の方針を早く理解していただき、キャビネット構成員或いはクラブ会長さんを早く知っていただく為です。7日から始まるクラブ活動については、第2号より取り上げて参ります。内容についての御意見がありましたら、PR情報委員又は編集担当者にお寄せ下さい。又地区ニュースの誌面を広く会員に開放したいと思いますので、自由な御投稿をお願い致します。

地区PR情報委員長 蒔田 辰男

只讀圖書



王明賢



王明賢



王明賢



王明賢



王明賢



王明賢



王明賢



王明賢



王明賢



王明賢

主編委員會

王明賢

王明賢

王明賢

王明賢

王明賢

王明賢

王明賢

王明賢

王明賢

王明賢

王明賢

王明賢

王明賢

王明賢

王明賢

王明賢

王明賢

王明賢



王明賢



王明賢



王明賢